



創造力が
未来をつくる。

令和6年度版 図画工作 内容解説資料

本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日文の新版教科書情報

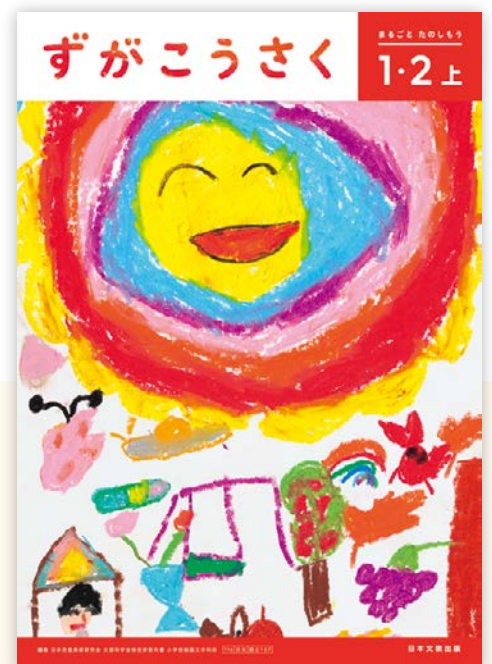
詳しくはWebへ!

日文

検索



未来をになう子どもたちへ
日本文教出版



※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。

未来をつくる 「わたし」をつくる 時間



図画工作は、未来をつくる「わたし」をつくる時間です。

わたしだけの思いを、わたしの力で形にし、
だれかと一緒に、想像しなかったものをつくりだし、

知らなかった「わたし」に、
知らなかった「あなた」に、
知らなかった「たくさんの思い」に出会う時間です。

この一つひとつの体験、一つひとつの時間の積み重ねが
「わたし」の創造力を育みます。

創造力は、
一歩踏み出す力、
自分の手で未来をつくる力になります。

日本文教出版の『図画工作』は、
未来をつくる
一人ひとりの「わたし」に
寄り添う教科書です。

CONTENTS

- 4 自ら考える力 決める力 やり抜く力
- 6 多様な他者と協働する力
- 8 よりよい未来を創造する力

point 1

やってみたいを引き出す教科書

- 12 心を動かす題材紙面
- 14 表現・対話が深まる新しい“道具”
- 16 豊かな形や色との出会い

point 2

学習の進め方が分かりやすい教科書

- 18 「学習の流れ」が見える
- 20 徹底した安全指導
- 22 題材と一体的に使える充実の資料
- 24 発想を広げるしかけ

point 3

成長に寄り添い、学びを広げる教科書

- 26 幼児期と小学校の学びをつなぐ
- 28 6年間の学びを支える
- 30 学びを、生活・社会・未来へ

- 32 編集上配慮した点 — 現代的な諸課題への対応 —
- 36 学びが深まる・広がる 日文のQRコンテンツ
- 38 教師用指導書のご案内
- 42 指導者用デジタル教科書（教材）
学習者用デジタル教科書・教材

資料編

- 44 つながる学びと各教科の内容項目との対応
- 46 題材系統表
- 48 年間指導計画例
- 50 地域別事例・作品一覧

- 52 教科書検討の観点から見た内容の特色
- 62 著作関係者
- 63 表紙に寄せて
日本文教出版の志 — purpose

デザイン：木元省美堂・岡田憲明 和田幸恵
イラスト：やまねりょうこ
印刷：木元省美堂



自ら 考える力 決める力 やり抜く力

出会う



触れる



夢中
になる



発見
する



見る



想像する



考える



つくり
だす

図画工作科は、造形的な見方・考え方を働かせながら、子どもたち一人ひとりが自身の思いや考えをもとに創造していく時間です。

材料や場所に出会い、体全体の感覚を働かせて感じ取り、繰り返し試しながらイメージを生み出します。

活動の過程で問題が生じたときには、よりよい方法を考えたり、イメージを変えたりしながら、自ら決めて作品を完成させます。

日文の教科書ではこうした流れを大切にしており、子どもたちは、つくりだす喜びを味わいながら学びを深めていくことができます。

感じる



試す

※本冊に記載の二次元コードより、2023年9月16日までQRコンテンツをご覧いただけます。

「実体験」を通して、自己肯定感を高める

小学生の頃に体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）や読書、お手伝い、異年齢の相手と遊ぶ機会が多かった子どもは、高校生の時点で自分への肯定感・満足感や外向性、精神的な回復力が高い傾向にあることが明らかになりました※。

材料に触れ、用具を使って自ら表現したり、友だちの作品や美術作品を鑑賞したりといった「実体験」を通して資質・能力を育む図画工作科は、自己肯定感を高め、多様性を尊重する心を磨く上で、今後ますます大きな役割を果たしていくと考えています。

※文部科学省『21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）』および『令和2年度 青少年の体験活動に関する調査研究結果報告』参考

体と心をほぐす ずこうたいそう



profile

近藤 良平 さん

ずこうたいそう振付・音楽・ナレーション担当
コンドルズ主宰
彩の国さいたま芸術劇場芸術監督

体が緊張してガチガチになっている人に、外からいくら「力を抜いて!」と言っても、余計に力が入っちゃう。でも、「筆になってみよう」と言われたらどうでしょう。自分が本当に筆になったつもりになると、やわらかくしなやかに体が動き出します。自分の内側にイメージをもつことで、体も心も自然とほぐれていくんです。

ICT活用 QRコンテンツ

ふでになる たいそう

体と心をほぐして、授業に向かう気持ちをつくる体操を8種類用意しました。オリエンテーションや、友だちとの関係づくりにも活用できます。



全巻の目録にある二次元コードから視聴できます



多様な他者と協働する力

図画工作科は、活動を通して自分を認め、他者を認め、多様な思いや考え方を尊重する心を育むことができる教科です。日文の教科書では、協働的に取り組める題材や、互いの作品や活動について話し合い、認め合う様子を多く掲載しています。対話的な学びを促すことで、豊かな感性を育むとともに、多様性を尊重する態度を養います。

対話する

ギターや音ぶがあるから、音楽のじっけん室みたい。

おもしろい考えだね。わたしは、ピラミッドのひみつのへやの中だと思ったよ。

なるほど。くらくてふしぎな感じだから、そんな見方もできそうだな。



3・4上 p.48-49 「絵を見て話そう」



3・4上 p.5 「ためす 見つける」



1・2下 p.46 「であって生まれる いろの せかい」

違いに気付く



3・4上 p.25-26 「土をかんじて」

尊重し合う



3・4上 p.22-23 「トントン どんどんくぎうって」

共につくる



3・4上 p.40-41 「クミクミックス」

互いのよさや個性を認め尊重し合う



profile
山下 完和 さん
障がい者多機能型事業所
やまなみ工房施設長

「私にできることで、かれらにできないことがあったとしても、かれらにしかできないこともたくさんあって、それが、絵をかいたり、ねん土で、見たこともないようなものをつったり、ししゅうをしたり、自分の好きなように自分自身を表現することができるというのが、最大のみりょくだと思います。」

ICT活用 QRコンテンツ

自分の好きなように自分を表現する

5・6下 p.57 「材料と用具のひきだし」より



よりよい未来を 創造する力

環境問題、資源不足、貧困、差別、争い……。現代社会が抱える課題は複雑化し、わたしたちを取り巻く環境は日々変化しています。日文の教科書では、予測困難な時代の中でも、自分なりの考えをもち、周囲の人と協力しながら持続可能な社会をつくりだす力を育てていきます。

わたしたちは、地球がもつ豊かな自然環境の恩恵を受けて、日々の暮らしを営んでいます。周囲の人はもちろん、地球と一緒に暮らしている生き物たちの営みにも思いを馳せることが大切です。



SDGs アートウォール・プロジェクト

3・4上p.53「広がる図工 みんなとつながる」

共生する

子どもたちが、海洋プラスチックを並べてつくった壁画。楽しそうに海を泳ぐ生き物たちが描かれています。

かたづけ

つかえる しんぶんしは
とっておこう。



再利用する

日々の授業や生活の中で、資源を大切にしようとする気持ちを涵養することを大切にしています。

1・2下p.20-21「しんぶんしと なかよし」

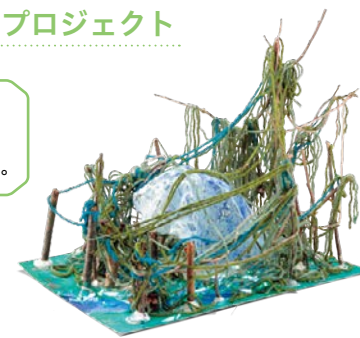
自分ごと にする

「こんなことが実現できたらいいな」「こうなりたいな」と想像することで、新しいアイデアが生まれ、未来への期待が高まります。既存の概念にとらわれない子どもの想像力は、まだ見たことのない社会をつくりだす可能性を秘めています。

新しい 価値を 創造する

あったらいいなプロジェクト

自然あふれる学校で、木や川、がけがあり、子どもがのびのび学べる。



▶ 想像～山の中の学校
[高さ45cm / ボール紙、絵の具、枝、毛糸など]

5・6下p.50-51「あったらいいなプロジェクト」



5・6下p.50-51「あったらいいなプロジェクト」

未来のわたし

かた足をふみ出して、病気の子のお話を聞くよなやさしいお医者さんになるよ。うでまくりをしている白衣は布でつくったよ。



▶ 病気を治すかっこいいお医者さん
[高さ15cm / 板、紙ねん土、厚紙など]

5・6下p.54-55「未来のわたし」

SDGsの観点 について

詳しくは、別冊「図画工作でできる！
SDGs 持続可能な社会の実現に向けて」



絵は考えるための道具です



profile
山中 俊治 さん
プロダクトデザイナー
東京大学教授

紙との対話をくり返しながらか空想を形にしていきます。私にとって絵は考えるための道具です。その道具を自然に使えるのは大事だと思います。上手な絵をかこうとしなくていいと思います。自分が想像したものや空想したものを人に伝えたり、こんなものがあったらおもしろいと思ったものをいねいに考えようと思ったときに絵は便利です。



QR コンテンツ

空想を形にするために



5・6上p.59
「材料と用具の
ひきだし」より





5・6下 p.36-37 「水の流れ 水の形」

日文 『図画工作』の特色

- 12  **point 1**
やってみたいを引き出す教科書
- 18  **point 2**
学習の進め方が分かりやすい教科書
- 26  **point 3**
成長に寄り添い、学びを広げる教科書
- 32 編集上配慮した点 — 現代的な諸課題への対応 —
- 36 学びが深まる・広がる 日文のQRコンテンツ

ICT 活用例は
ここをチェック



図画工作科における
ICT 活用の具体例を
紹介しています。

心を動かす題材紙面

主体的・対話的で深い学びの第一歩である、学ぶことへの意欲を引き出す紙面づくりを目指しました。
魅力的な情景写真は、資質・能力を発揮する子どもたちの姿を示しています。活動中のつぶやきや豊富な
作品例によって発想や構想、工夫を読み取りやすくし、子どもたちの「やってみたい」を引き出します。

活動する 「友だち」の姿が 好奇心を引き出す

本物は心を動かします。子どもたち一人ひとりの好奇心を引き出すために、実際の授業を取材・撮影することを大切にしました。紙面の中の「友だち」が全身で材料を味わう姿、真剣に試行錯誤する姿、協働する姿……授業で見られるこうした一瞬が主体的・対話的な学びの姿だとわたしたちは考えます。

本教科書は、2019年から2021年にかけてつくられたため、一部マスクを着用した写真がありますが、撮影時には感染防止に十分配慮しました。

まどを あけたら

カッターナイフで どんどん きって まどを あけよう。どんな かたちの まどが できるかな。

いろいろな まどの かたちを 見つける。
まどの かたちを くふうする。

まどの かたちや、あらわしたい ことを かんがえる。
まどの かたちや さくひんの たのしさを あじわう。

いろいろな まどを あける ことを たのしむ。

まどを ひらこう どんな ように ひらくかな。

ゆっくりと きって、
いろいろな かたちの まどを
あけよう。

のりしろを つかって 立たせよう

小さな かみを はる。 下を きって ひろげる。

まどから いろんな せかいが ひろがって いるかな。

小さな 人の いえ

かきかき の いえ

くるくるの ふしぎな めいろ

気をつけよう
カッターナイフの すずむ ほうに 手を おかない。

かたづけ
まだ つかえそうな かみは、とって おこう。

ふりかえり
きって あけたら どんな 気持ち がしたかな。

40 カッター ナイフ カッター マスク ペン はさみ 色紙 225mm×225mm

カッターナイフについては 58・59ページ。

つながる 学び

1・2下 p.40-41 「まどを あけたら」

「わたしならこうしたい」 が生まれる多様な作品

基底材の形、材料、大きさなどがさまざまな作品を掲載することで、表現の幅広さを示し、創造性を培うことができるよう工夫しています。作品を見た子どもが「こんな発想をしてもいいんだ」「自分ならこうしたい」と感じられる紙面を目指しました。取材した授業での子どもたちの発言や作品のコメントも掲載し、子どもたちの発想や構想、工夫が分かるようにしています。

▶ 題材一覧と学年や題材ごとの関連を確認できる「題材系統表」は、本書 p.46

全国の子どもたちと一緒に

子どもが「自らの感性を動かせる学びの過程が見える」紙面づくりを目指しました。全国の子どもたちの視線や思いのその先にあるものを一緒に見て、感じて収めた情景写真、思いを形にした豊富な作品例を載せた紙面により、一人ひとりの「やってみたい」を引き出します。



1・2上 p.54-55「すきまちゃんの すきな すきま」

- のべ 500 校を超える 小学校を取材
- 100 人を超える著者・実践協力者と共に製作

ICT活用

みんなの図工ギャラリーでは 全国の児童作品を鑑賞できる

各題材紙面の二次元コードからアクセスすると、全国の児童作品を見ることができます。

- ・活動に入る前に作品を鑑賞し、見通しをもつ
- ・活動の途中で作品を鑑賞し、新たな発想や構想のヒントにする

など、さまざまな場面で活用することができます。

児童作品



1300 を超える
豊富な児童作品を
掲載。随時更新中!

まどから こんにちは ★ (まどを あけたら)

各作品画像もクリックして拡大してください。

穴の開いた基地
（あながあいたきち）
色紙用紙・段ボール・おりばし・ペン・クレヨン
38×102×30cm/完成形

きらきらビル
（きらきらビル）
色紙用紙・段ボール・ペン・鉛筆/27×42×22cm
/完成形

じゅんがカラフルのマンション
（じゅんがカラフルのマンション）
色紙用紙・段ボール・ペン・クレヨン/28×42×3
6cm/完成形

表現・対話が深まる新しい“道具”

アプリを使う題材や鑑賞方法を掲載しています。コマ撮りアニメーションの仕組みを使って面白い動きをつくることに挑戦したり、ブラウザ上でアート・カードを使って楽しみながら鑑賞したりすることができます。タブレット端末やPCも道具の一つとして捉え、活用しながら学びを深めていきます。

すぐに使えるアプリ「KOMAKOMA × 日文」で

“スケッチをする”ように、アニメーションをつくる

「KOMAKOMA × 日文」は、簡単にコマ撮りアニメーションをつくることのできるアプリです。アプリの機能を最小限に絞ることで、長い物語をつくるというよりは、動きのスケッチをするように、気軽に、いくつも、アニメーションをつくってもらうことをねらいにしています。「想像する」「試す」「鑑賞する」ことを繰り返しながら、自分の世界を表現する楽しさ、つくりだす喜びを感じてほしいと願っています。



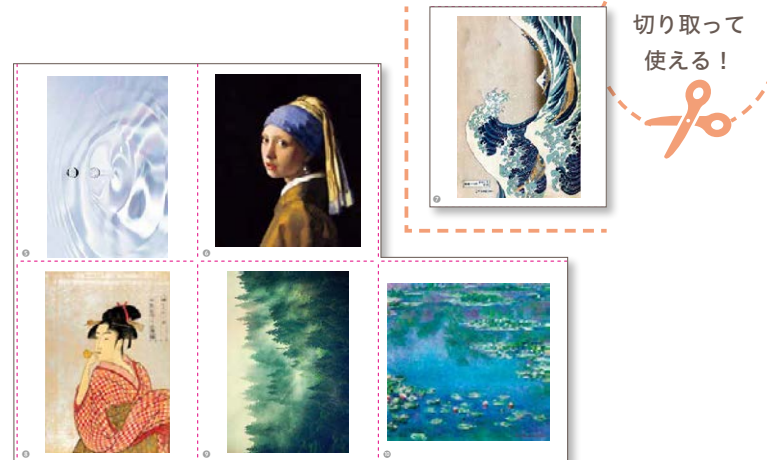
5・6上 p.12-13 「形に命をふきこんで」

「アート・カードを楽しもう」で

見て楽しむ、対話を深める

全巻の巻末にアート・カードの活用法がわかる特設ページを設けています。1・2上ではカードをじっくりと見てポーズや顔を真似る「まねっこゲーム」、3・4下ではカードを選んで話をつくる「お話をつくろう」など発達の段階に応じた活用例、対話しながら鑑賞する方法を紹介しています。5・6上には、切り取って使える「ミニ・アートカード」も収録しています。

「ミニ・アートカード」を収録



5・6上 p.69-70 「切り取って使おう! ミニ・アートカード」

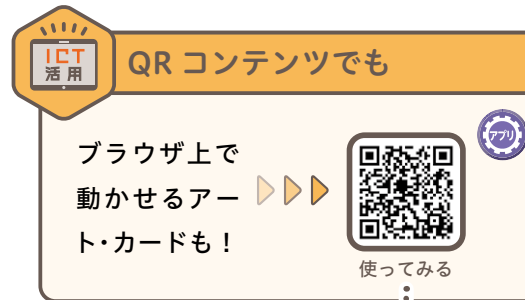
「両観音開き」の加工で

新しい学びへの扉を開く

3・4上の教科書美術館「しぜんの色」の次ページには、土や葉などの自然材を使って鑑賞しながら表現につながる題材、鑑賞したことから考えたり感じたりすることを表す題材を掲載しています。両開き扉を開くように教科書美術館のページをめくると関連する題材が目前に広がる仕様で、新たな活動への関心・意欲を高めます。



3・4上 p.24-29 「教科書びじゅつかん しぜんの色」「土をかんじて」「お気に入りの葉」



ゲームの仕方が分かる



1・2上 p.66 「まねっこゲーム」

豊かな形や色との出会い

身近なものから諸外国の美術作品まで、多様な形や色に出会うページやQRコンテンツを設けています。造形的な視点で捉えるよさや面白さを示し、図画工作を学ぶ意義を伝えています。

低学年では

身の回りにあるものから

低学年の子どもたちにとって身近なものを掲載しています。あえて一部に焦点を当てることで、その形や色の面白さや美しさに気付けるよう働きかけています。身の回りにあるものの形や色を見て、感じて、考えながらイメージを広げていくことができます。

線で区切られてみたい

ずこうのみかた

亀の甲羅の模様に似ているね

気付きが生まれ自然と対話が始まります。

にているものなあに？ふしと

にているものはどれかな。どこかにているのかな。

みのまわりにもにているものはあるかな。さがしてみよう。

1・2上 p.30-31 「ずこうのみかたにているものなあに」

中学年では

身近な美術作品から

児童書や絵本でも親しまれている画家・元永定正さんの作品を通して、身近な美術作品などのよさや面白さ、美しさを感じ取る活動を紹介しています。

図画工作をはじめよう

見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ

この作品を見てみよう。おもしろいと感じるところはどこかな。どうしてそう感じたのかな。

いいねと感じたことを書そう

よく見るといろいろな色が隠れているかも

上からたたくと音がするかも

美術作品を見て感じたおもしろさを話したり、ためしたりして自分の見方を広げる。

いろいろな色を
2019年7月1日発行
ISBN 978-4-11-900000-0
小学館 図画工作部

3・4下 p.5-6 「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ」

ICT活用 QRコンテンツでも

元永定正さんの絵本の世界の魅力や作品づくりの様子を動画で見ることができます。

作品

メッセージ

高学年では

日本の伝統的な作品や諸外国の美術作品から

教科書全体を通して日本の伝統文化を含む多様な造形や諸外国の美術作品を多数掲載しています。教科書では対話しながら鑑賞することを促し、造形的な視点を養っていきます。



5・6下 p.38・41 「教科書美術館 受けつがれてきた形」



5・6下 p.24-25 「この筆あと、どんな空？」

ICT活用 QRコンテンツでは

全ての画像を拡大して表示、鑑賞することができます。

「なにのしゃしんかな。」より

ICT活用 作家からのメッセージ動画

「材料と用具のひきだし」の扉ページでは、作家の方々に協力いただき材料や用具を使うことで生まれる多彩な形や色の魅力を伝えています。QRコンテンツでは、子どもたちへのメッセージ動画を視聴することができます。

絵のぐがつくるたくさんの色

profile

Boojil ブージルさん
アーティスト・絵本作家

3・4上 p.55
「ざいりょうと用ぐのひきだし」

「学習の流れ」が見える

活動の場面ごとに、学習をサポートする投げかけを示しました。

活動の見通しと振り返り、表現と鑑賞を関連させる問いによって、主体的・対話的で深い学びへ導きます。

学習をサポートする投げかけ

- ✓ 導入の言葉
- ✓ 学習のめあて
- ✓ 表現のヒント
- ✓ 鑑賞のヒント
- ✓ 振り返り

トントン どんどん くぎうって

金づちで、木にくぎをどんどんうっていこう。リズムよくうつつうちに、どんな形が見つかるかな。

木にくぎをうつことのできる形のかんじが分かる。
うつつぎの数やならべ方をくふうする。

木にくぎをうちながら、できる形を考える。
木にくぎをうってできる形のおもしろさかんじとる。

くぎをうつ手ごたえを楽しみながら、形をつくる。

上がったり下がったりするようにうったよ。

くぎの高さや角度をかえてうってみよう。

くぎのおもしろいつかい方はどこかな。

ここから見るんだよ。

気をつけよう
手をうたないように、うつつぎをしっかりと見よう。

かたづけ
くぎは高さごとに分けてまとめよう。

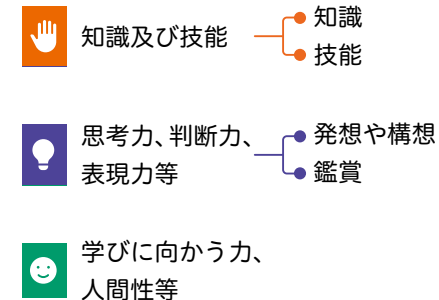
ふりかえり
くぎをうったのはどんなかんじだったかな。

22 23 24 25
くぎのうつつについては58・59ページ。

3・4上 p.22-23 「トントン どんどん くぎうって」

「指導と評価の一体化」の実現に向けて

「学習のめあて」では3観点を5項目に細分化し、育てたい力をより明確に分かりやすく示しています。「思考力、判断力、表現力等」は、発想や構想のめあて（A 表現）と、鑑賞のめあて（B 鑑賞）の両方を示し、表現と鑑賞を往還しながら活動することを大切にしています。めあての5項目は、そのまま評価規準の観点につながります。



ICT活用 QRコンテンツはどんな場面で使うの？

本題材であれば、活動の導入で「くぎの打ち方」を動画で確認したり、活動の途中で発想を広げるために多様な児童の作品を鑑賞したりすることができます。



詳しくは、別冊『ICT活用でもっと深い学びを!』、本書 p.36 について



教科書を活用した授業例

金づちで、木にくぎをどんどんうっていこう。リズムよくうつつうちに、どんな形が見つかるかな。

意欲を引き出す 導入の言葉
題材名の下に、活動への意欲を引き出す投げかけの言葉を示しています。

学習のめあてを確認
資質・能力の三つの柱に対応しためあてで「その題材で何を学ぶのか」が分かります。

表現のヒントを投げかける
発想を広げる方法など、特に大切なめあてと関連させて、具体的な手立てを示しました。

鑑賞のヒントを投げかける
掲載作品のどこに着目するとよいかを示しました。学級で作品を鑑賞し合うときに投げかけ、対話的な学びを促すこともできます。

活動後の振り返り
活動を終えて、どのような気づきや学びがあったのか、学習を振り返るための投げかけを示しました。

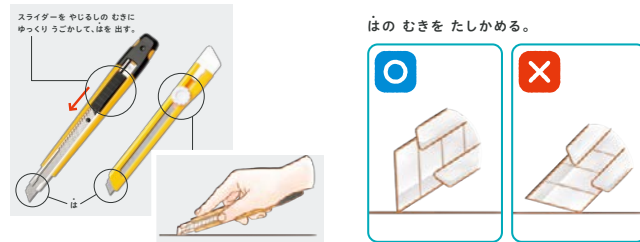
徹底した安全指導

全ての子どもが材料や用具について安全で適切な扱いができるように、分かりやすく丁寧に示しています。子どもたちの造形的な創造活動を支えるために、材料・用具の安全な取り扱いを知り、身に付けることは大切なことだと考えています。

巻末資料「材料と用具のひきだし」では

見やすく、すっきりとしたレイアウト

文字だけではなく、基本的な使い方やポイントを分かりやすいイラストや写真とともに示しています。また、各項目の区切りが分かりやすいように、間に線を引くなどの配慮をしています。具体的に見せることでどれもが等しく学習活動を行うことができます。



イラストや写真と一緒に

○×で分かりやすく

きる カッターナイフで きる

きる カッターナイフ

スライダをやるじのむきにゆっくりうごかして、はを出す。

① ねじをゆるめて、はを出す。
② ねじをしめて、はがうごかないようにする。

もちかた
えんぴつもち うすい かんなどをきるとき
にぎりもち あついかみなどをきるとき

しせい
からだをまえにむけてする。
きるところを見る。

きりかた
① はを1、2めりくらい出し、かみにチェックとさす。
② おくから手まえにまっすぐうごかす。

かみをまわしてきる
きるむきに あわせて かみをまわし、おくから手まえに うごかしてきる。

じょうぎをつかっている
めもりがないほうに はをあてる。
じょうぎが うごかない ように、手でおさえてきる。

ポイント

はを出しすぎない。
はのすすむほうに手をおかない。
よこやななめにきらない。
はを人にむけたり、ふりまわしたり ぜったいにしない。
つかわないときは はをしまって、つくえの上などにおく。
人にわたすときは、はをしまい、はのほうをもつ。
はを立すぎない。

はの おりかた
はがきれにくくなってきたら、はをおって あたらしいはにする。
はのせんにそって おく。
おったはは、ピンなどに入れておく。

1・2下 p.58-59 「カッターナイフで きる」

題材ページで

授業中、一緒に確認

気をつけよう

木のえだをしっかりこていして、小刀をおし出すようにしてけずる。

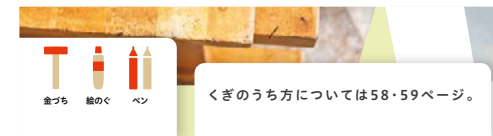
3・4上 p.36-37 「これでかきたい」

気をつけよう

写真やイラスト付きで、安全指導を掲載しています。

材料や用具について

題材ページでは、その題材で使う用具を分かりやすいアイコンで示しています。「材料と用具のひきだし」の該当ページも確認することができます。



3・4上 p.22-23 「トントン どんどん くぎうって」

ICT活用 **動画で**

一人ひとりの学習進度に合わせて

QRコンテンツ

題材ページにある二次元コードからアクセスすると、用具の使い方・技法動画を視聴することができます。その題材で初めて扱う用具から既習の用具まで、安全で適切な使用方法を確認したいときに使えます。一人ひとりの学習の進度に合わせて、各自の端末で確認してもよいですし、授業中、モニターに映しておき、子どもたちがいつでも見られるようにしておくといった活用もできます。



例えば

「1まいの板から」(5・6下 p.32-33) の場合

- 電動糸のこぎりの使い方
 - 紙やすりの使い方
 - 木工やすりの使い方
 - くぎの打ち方
 - ドライバーの使い方
 - 塗装のしかた
 - のこぎりの使い方
 - 金づち・げんのうの使い方
 - きりの使い方
- など全20点を動画で確認できます。



二次元コード

「思い出そう」で

既習事項を確認できる

思い出そう

のこぎり

- 切り始める時 小さい角度で、ゆっくり小さく動かす。
- 切り進める時 大きい角度で、大きく動かす。
- 切り終える時 小さい角度で、ゆっくり小さく動かす。

5・6下 p.62 「木を組み立ててつくる」

思い出そう

直角に曲げる時は、はり金をペンチでおさえ、親指で曲げる。

5・6下 p.22-23 「くるくるクランク」

思い出そう

当該学年より前に習った用具が登場する際には、「思い出そう」のコーナーを用意。安全指導に関わる既習事項を示し、適切な取り扱いの確実な定着を図っています。

題材と一体的に使える充実の資料

特設ページ「教科書美術館」や「広がる図工」を、関連が深い題材と連動させて活用することができるよう配置をしています。表現と鑑賞を往還しながら学びを深めていくことができます。

「教科書美術館」で

題材の活動がより深まる

「教科書美術館」では、伝統文化や諸外国の作品などを掲載しています。「教科書美術館」は、関連する題材のページと連続して配置しており、題材と一体的に扱いながら活動を深めていくことができます。また、QR コンテンツでは、美術作品を拡大して鑑賞したり、解説動画を視聴したりすることができます。

	教科書美術館	題材
1・2下	p.44-45「からだで見つけるかたち・いろ」	p.42-43「だんボールに入ってみると!」 p.47「つないでつるして」
3・4上	p.24・29「しぜんの色」	p.25-26「土をかんじて」 p.27-28「お気に入りの葉」
3・4下	p.22-23「体の形」 p.42-43「光から生まれる形・色」	p.24-25「体でかんしょう」 p.40-41「光とかげから生まれる形」 p.44-45「光のさしこむ絵」
5・6上	p.22-23「身近なものを見つめて」	p.24-25「あの時あの場所わたしの思い」
5・6下	p.38・41「受けつがれてきた形」	p.39-40「もようから見つけて」

教科書美術館



3・4下 p.22-23 「教科書美術館 体の形」

表現と鑑賞を
往還しながら

題材ページ



3・4下 p.24-25 「体でかんしょう」

体の動きに
注目してみよう。



「広がる図工」で

学びを生活や社会につなげる

「広がる図工」では、廃材を再利用した作品や地域で協力して作品を展示する様子など、さまざまな事例を掲載しています。3・4下の「すてられそうなものがよみがえる」では、限られた資源を大切に使う作品や商品をつくる事例を紹介し、次ページでは、だんボールを再利用して作品をつくる題材を掲載しています。「広がる図工」での気づきを作品づくりに生かせる紙面構成になっています。

広がる図工



3・4下 p.32-33

「広がる図工 すてられそうなものがよみがえる」

使い終わっただんボールを、生活に使えるものに生まれ変わらせる

題材ページ

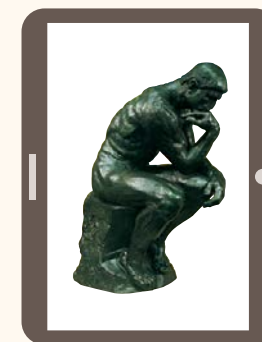


3・4下 p.34-35 「おもしろだんボールボックス」

ICT活用

QR コンテンツでは
美術作品や作品の映像を鑑賞できる

考える人

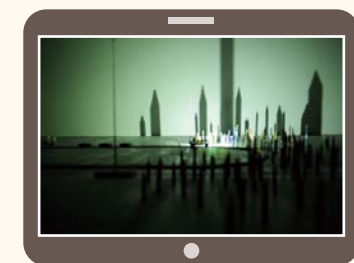


3・4下 p.24-25
「体でかんしょう」より

活動の前後に、美術作品を拡大して鑑賞したり、動画を視聴したり、さまざまな場面で活用できます。



10番目の感傷 (点・線・面) クワクポリョウタ



3・4下 p.42-43
「光から生まれる形・色」より



発想を広げるしかけ

子どもたち一人ひとりが自分の納得できる形や色を探し出すことができるよう、発想や構想、表現のヒントになるコーナーを設けています。試しながら考え、答えを探し出す力を育みます。

「いいこと思いついた！」を引き出す

「図工のみかた」では、子どもたちの発想や構想、表現のヒントになる投げかけを写真やイラストとともに掲載しています。例えば、3・4下の「ひらめきのタネ」では、「何をしたいかわからない」「つくりたいものが浮かばない」ときに、試してみたいことを紹介しています。発想に悩む児童に、「図工のみかた」を見て考えてみる声をかけるなど、授業の導入や展開などさまざまな場面で活用することができます。



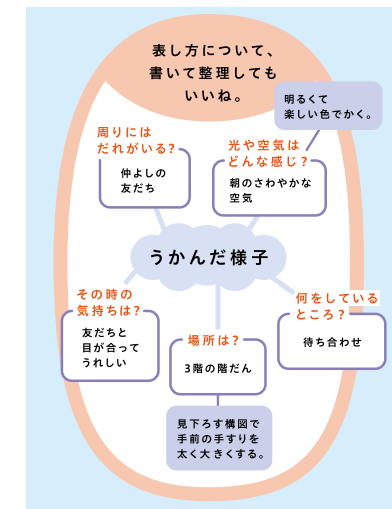
シンキングツールで

表し方を整理し、表現を深める

高学年ではシンキングツールを使って、思い浮かんだ様子や自分の考えを可視化しながら表したいことを整理する方法を提案しています。

Index

- 5・6上 p.8-11 「心のもよう」
- 5・6上 p.24-25 「あの時の場所わたしの思い」
- 5・6上 p.32-33 「言葉から思いを広げて」
- 5・6下 p.26-27 「わたしの大切な風景」



5・6下 p.26-27 「わたしの大切な風景」

ICT活用 QRコンテンツでも

使用するツールを選択してください

クラゲチャート
ダイヤモンドシンキング
ダイヤモンドシンキング

アプリ「シンキングツール」

シンキングツールをブラウザ上で使うこともできます。

ひらめきのタネ

「いいこと思いついた！」のタネは、いるいるなどところにかくれているよ。集めたいことや、してみたいことが思いつくかばないとき、ヒントになるかもしれないね。

- ざいりょうを見たり、さわったりする
この色がすきだな。
ガラッとしてごわごわとした感じ。
- 遠くから見る
近くから見る
見え方がかわって
おもしろいな。
- ざいりょうを組み合わせる
新しい色だ!
あんなイメージになってきた。
- ためておいた「いいな」を見る
集めた「いいな」を使えるかも。
- 友だちの活動や作品を見る
おもしろい形だね。
- 体と心をほぐす
のびーてリラックス。
- 考えをかき出す
シンキングツールを使ってもいいね。

3・4下 p.16-17 「図工のみかた ひらめきのタネ」

Index

- 1・2上 p.30-31 「にているものなあに」
- 1・2下 p.24-25 「わたしのお気に入り」
- 3・4上 p.34-35 「手と道ぐ」
- 3・4下 p.16-17 「ひらめきのタネ」
- 5・6上 p.46-47 「どう見る? どう見える?」
- 5・6下 p.20-21 「なんでこの形?」

つくり方のヒントで

表し方・仕組みを知る

つくり方の例や基本的な仕組みについて、イラストで分かりやすく示しています。つくり方を理解して、見直しをもって取り組むことができます。



3・4下 p.34-35 「おもしろダンボールボックス」

「図工ノート」に

かきためて発想・構想につなげる

図工ノートは、「アイデアをまとめるとき」「かいたものを記録したいとき」などに活用できます。かきためたものは、アイデアの断片を見付けたり、発想を広げたりするきっかけになります。

図工ノートを
つくり方

試す時に
アイデアをまとめるメモとして
かいたものをはって記録として
お気に入りのものを
集めるスクラップブック

タブレット端末で
まとめることもできる。

5・6下 p.6-7 「絵の具スケッチ」

Index

- 3・4上 p.6-7 「かいて見つける わたしのすきなもの」
- 5・6下 p.6-7 「絵の具スケッチ」

幼児期と小学校の学びをつなぐ

子どもたちが幼児期に学んだことを十分に生かし、自信をもって学習活動に取り組めるよう1・2上の巻頭に特設ページを設けています。幼児期との接続題材では活動を通じて、入学したての子どもたちの好きなこと、考えていること、これまでに培ってきた力を知ることができ、1年生の担任が初めての先生でも安心して取り組むことができます。

幼児期との接続ページで

「知ってる!」「やったことある!」 という自信から学習をスタート

1・2上の巻頭に幼児期の活動を想起させる情景写真や作品を掲載しました。子どもたちの前向きな感情を引き出す「どんなこと すきだった?」との投げかけとともに、ページを見ながら対話することで、幼児期の学びを振り返り、子どもたちが安心して図画工作科の活動を始められるよう配慮しました。



1・2上 p.2-3 「どんなこと すきだった?」

幼児期との接続題材で

幼児期の学びを生かして 始める五つの題材

学級経営
にも配慮

初めての学校生活に期待と不安でいっぱいの子どもたちが、幼児期の経験を生かして楽しく取り組むことができる五つの題材を設定しました。全身で感触を味わう活動や、経験のある用具を使いながら手や指先の感覚を働かせる活動を取り入れています。また、めあてを一つに絞り指導のしやすさを考慮し、さらに友だちとの関わりを促し学級経営に配慮しています。



1・2上 p.14-15 「ちよきちよき かざり」

幼児期との 接続題材

1・2上 p.7-17

鑑賞

すきなかたちや
いろななに

絵

どんだんかくのは
たのしいな

立体

ねんどでごちそう
なにつくろう?

工作

ちよきちよき
かざり

造形 遊び

すなやつちと
なかよし

6年間の学びを振り返り、 中学校へつなげる

5・6下の巻末には、図画工作科での学びを振り返り、中学校での学びにつなげていくページを設けました。活動を通じて気付いたこと、心に残ったことをみんなで話し合いながら絵や言葉で表現し、6年間何を学んできたのかを一人ひとりが考えることができるようにしました。



5・6下 p.66-67 「図画工作での学びをふり返ってみよう」

6年間の学びを支える

巻頭には一年の始まりに適した「オリエンテーションページ・題材」を、低学年・中学年の巻末には次の学びへ生かすための「振り返りページ」を設けています。高学年では、過程を丁寧に示すことで着実に経験を積み上げ、子どもたちの6年間の学びが未来へつながるよう構成を工夫しています。

巻頭に

授業びらきができる オリエンテーションページ

各学年の巻頭に、図画工作科の授業びらきに最適なメッセージと導入題材を掲載しています。子どもたちと「図画工作科で大切にしたいこと」を共有することができるメッセージは、4月の授業はもちろん、以降の授業の導入でも活用できます。導入題材では、めあてを一つに絞り、経験のある用具と使い慣れた材料を用いるなど活動や指導のしやすさを考慮しています。



5・6下 p.5-7 「わたしとひびき合う／絵の具スケッチ」

Index

- 1・2上 p.4-6 「ずがこうさくがはじまるよ」
- 1・2下 p.5-7 「もっと まるごとたのしもう／きせつを かんじて」
- 3・4上 p.5-7 「ためす 見つける／かいて見つけるわたしのすきなもの」
- 3・4下 p.5-7 「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ／ためす 見つける」
- 5・6上 p.5-7 「感じたことを伝え合う／わたしとひびき合う」
- 5・6下 p.5-7 「わたしとひびき合う／絵の具スケッチ」

低学年と中学年の終わりに

「振り返りページ」

題材ごとの振り返りに加えて、下巻の巻末に振り返りページを設け、何を学んできたのか子どもたちが考え、次の学びへ生かすことができるようにしました。



1・2下 p.54
「どんなことしたのかな」

Index

- 1・2下 p.54 「どんなことしたのかな」
- 3・4下 p.54 「どんなことをためしたのかな いろんなことを見つけたかな」

高学年では

過程がしっかり見える紙面構成

高学年では、活動の流れをより丁寧に示しています。子どもたちに思考の整理を促し、一人ひとりが表したいことやそれを表す方法を見付けられるようさまざまな手立てを掲載しています。

活動の流れを明確に

- 1 思いのままにかいて、「気持ち」カードをコレクションしよう
- 2 「気持ち」カードを使って、アートゲームをしよう
- 3 気持ちがつまった「心」を、「気持ち」カードを材料にして表そう



4 ページ構成の
題材も！

5・6上 p.8-11 「心のもよう」

思考の整理を促す ツール

発想を広げるための
考え方を示しました。

思い出そう 表し方のくふう

既習事項の振り返りを
促します。

こう成を考えよう

構成を考えるための造形
的な視点を示しました。

教科書美術館ミニ

高学年では、その題材で取り上げている表現や発想の方法と関連が深い美術作品を掲載しています。見方・考え方を深めるとともに、身の回りだけでなく、社会に目を向けられるよう促します。

Index

- 5・6上 p.8-11 「心のもよう」
- 5・6下 p.10-13 「音の絵」

学びを、生活・社会・未来へ

図画工作科の学習が他教科や日常生活、家庭や地域とつながることでより深まっていきます。
教科書では、それぞれに関連付けて学びを深めることができるよう構成しています。

他教科と つなげる

他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例を掲載し、教科等横断的な視点でカリキュラム・マネジメントができるよう配慮しています。

国語科

国語科で出会う物語や詩などを基に発想を広げて表す題材を掲載しています。



1・2上 p.40-41 「おはなし だいすき」

「つながる学び」マーク

他教科等と関わりのある題材について、「つながる学び」マークを付けて示しています。

つながる学び
国語

外国語活動・外国語科

QR コンテンツでは、形や色を表す英語の発音を確認することができます。



3・4下裏表紙 「つながる図工 作品でつたえよう」

プログラミング教育

特設ページ「ICTでチャレンジ」では、プログラミングを活用した表し方を紹介しています。



5・6上 p.54-55 「ICTでチャレンジ」

家庭へ

つなげる



3・4下 p.38-39 「きって楽しいきって使える」

作品などを家庭で使う様子や保護者の方と一緒に楽しむ様子を掲載し、図画工作科の学びが生活にどのように活かされるのか伝えています。

▶「つながる学び」について詳しくは、p.44



1・2下 p.2 「もくじ」

図画工作科で大切にしていることや、どのような力を身に付けるのかについて、保護者の方と共有するメッセージを掲載しています。

地域へ

つなげる

学びを地域や社会と結び付け深めることができるように、地域の方と協働して活動している事例を掲載しています。



5・6上 p.36-37
「広がる図工 どんなことをどんな方法で」



1・2下裏表紙「つながるずこうつくったおもちゃでいっしょにあそぼう」

未来へ

つなげる

身近な社会や環境の問題などからテーマを考え、想像力を働かせて「あったらいいな」を表現する題材や、自分自身を見つめ10年後、20年後の「わたし」を思いえがいてつくる題材を設定しています。社会科や総合的な学習の時間と関連付けて取り組むこともできます。



5・6下 p.54-55 「未来のわたし」



5・6下 p.50-51 「あったらいいなプロジェクト」

Index

- 1・2上 p.40-41 「おはなし だいすき」
- 1・2下 p.38-39 「おはなしから生まれたよ」
- 3・4上 p.38-39 「ことばから思うかべて」
- 3・4下 p.36-37 「言葉から感じて」
- 5・6上 p.32-33 「言葉から思いを広げて」
- 5・6下 p.34-35 「言葉から想像を広げて」

編集上配慮した点

— 現代的な諸課題への対応 —

新版の教科書では、題材で使用するプラ材の削減、防災・安全教育、言語活動の充実などに取り組んでいます。また、特別支援教育に関する配慮やインクルーシブの観点での取り組みなどを掲載し、図画工作科の特性を生かして、現代的な諸課題への対応を図ることができるよう工夫しています。

資源・環境の視点から

プラ材を
約70%削減!

プラスチック製の空き容器やストローなどを大量に使用する題材を削除または別の材料を使う題材に変更し、令和2年度版と比べて、題材で使用するプラ材を約70%削減しました。



3・4下 p.32-33 「広がる図工 すてられそうなものがよみがえる」
使い終わったものや捨てられようとしていたものを、アイデアと工夫で商品や作品としてよみがえらせている人たちの活動を紹介しています。身の回りのものへの新たな見方や価値の再創造を促します。



環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。



1・2下 p.20-21 「しんぶんしとなかよし」

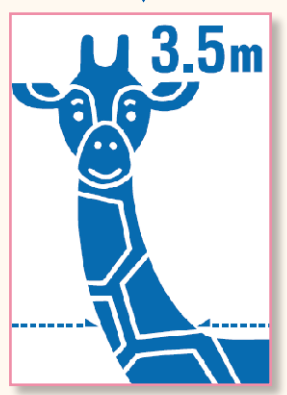
かたづけ
つかえる しんぶんしは
とっておこう。
かたづけマークで、材料や用具を大切に使うために確かめることを示しています。材料の再利用を促し、環境問題への関心を高める工夫をしています。

防災・安全教育

子どもや日本語を母語としない人にも分かりやすい防災サインの事例を紹介しています。防災・安全教育の専門家である河田恵昭先生による校閲のもと編集されています。

浸水深サイン
(どうぶつものさし)
5・6上 p.36-37 「広がる図工
どんなことをどんな方法で」

津波の時に水が来る高さを伝えたい



profile
河田 恵昭 先生
関西大学社会安全研究
センター長・特別任命教授

言語活動の充実

題材において対話している情景写真や発表の様子を掲載するとともに、友だちと対話しながら鑑賞するページを設定し、言語活動を促しています。多様な感じ方や作者の思いを尊重することの大切さも伝えています。



5・6下 p.5-7
「わたしとひびき合う／絵の具スケッチ」



1・2上 p.56
「ともだちのさくひんをみてはなそう」

伝統文化



5・6下 p.38・41
「教科書美術館
受けつがれてきた形」

発達の段階に合わせて、題材ページや特設ページで身近な伝統文化や日本各地の伝統工芸について紹介しています。

多文化共生



3・4上 p.20-21
「あの日あの時の気もち」

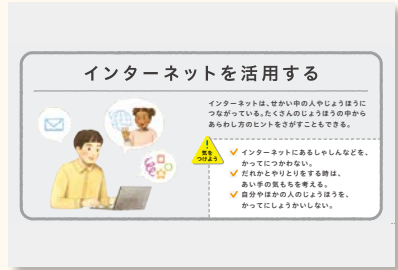
国際理解について考えられるよう諸外国の児童の作品やオンラインで外国の児童と交流する事例を掲載しています。



3・4上 p.52-53 「広がる図工 みんなとつながる」

情報モラル

ICTを活用する際に必要となる情報モラルや著作権について説明しています。



3・4上 p.63
「ICTの活用 インターネットを活用する」



5・6上 p.65
「ICTの活用 タブレット端末を活用する」

SDGsの観点
について

詳しくは、別冊「図画工作でできる！
SDGs持続可能な社会の実現に向けて」

特別支援教育に関する配慮

カラーユニバーサルデザインに配慮

色覚特性の有無にかかわらず、全ての子どもが等しく学べるようコントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルに配慮して編集しています。また、特別支援教育の専門家である大内進先生による校閲のもと編集されています。



profile
大内 進 先生
星美学園短期大学
日伊総合研究所客員研究員

ポイント
むだのない切り方を考えよう

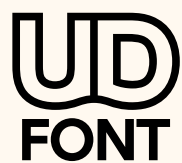
- 木のほしのまますくなくところを利用する。
- 切る回数をなるべく少なくする。

5・6下 p.62-63 「木を組み立ててつくる」

色の濃淡だけではなく、斜線を引いて示すことでより見分けやすくなるよう配慮しています。

ユニバーサルデザインフォント

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。



拡大教科書・学習者用デジタル教科書

文字の大きさを変えた拡大教科書を製作します。また、文字の拡大や音声の読み上げなど、特別な配慮を必要とする児童が活用できる機能を備えた学習者用デジタル教科書を製作します（詳しくは p.43）。

多様な児童に配慮した題材設定

- 支持体の大きさ、形、素材などがさまざまな作品を掲載し、児童の多様な表現を認められるよう配慮しています。
- 多様な児童が主体的に取り組めるよう、「材料に触れながら発想する題材」「材料の種類や数を絞った題材」「鑑賞して感じたことを、言葉だけでなく体を使って伝える題材」など、インクルーシブ教育に配慮して実践できる題材を設定しています。
- 児童の実態に応じて活動の仕方を考えることができるよう、同一題材の中で「屋内／屋外」「自然材／身近材」「個人／協働」など、複数の実践パターンを示しています。

持続可能な開発目標 (SDGs)

子どもたちが持続可能な社会について考えられるよう ESD の観点に立った題材や事例、持続可能な開発目標 (SDGs) を掲載しています。



5・6上 p.36-37 「広がる図工 どんなことをどんな方法で」

平和・人権・福祉・インクルーシブ



5・6下 p.48-49 「広がる図工 平和を願って」
平和学習や人権学習との関連を図ることができる図版や事例を掲載しています。



5・6上 p.26-27 「美しく立つはり金」
写真やイラストにおいて、多様なルーツをもつ児童や、幼児、高齢者、障がいのある人など、多様な人々と関わる姿を掲載しています。

ふれることで分かるようにしよう

道路の方向と安全を伝えたい

美術館の地図を伝えたい

5・6上 p.36-37 「広がる図工 どんなことをどんな方法で」

触れて味わうことができる作品や視覚障がい者のための設備、使いやすさに配慮したデザインのコップなど、福祉について考えられるような題材や事例を掲載しています。

ふれて伝えるストーリー

コップ

5・6上 p.28-29 「ふれて伝えるストーリー」

5・6下 p.30-31 「広がる図工 生活を豊かにする形」

SDGsの観点について

詳しくは、別冊「図画工作でできる！SDGs持続可能な社会の実現に向けて」

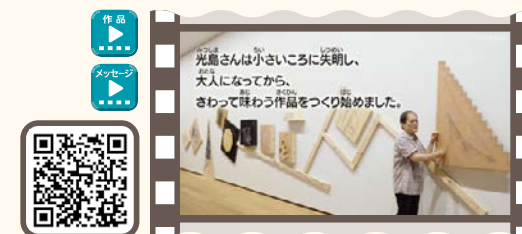


自分の好きなように自分を表現する



障がい者多機能型事業所「やまなみ工房」で利用者一人ひとりが、それぞれの表現活動を楽しむ姿を紹介しています。

まち歩き
— 善光寺参道から信濃美術館へ —



QR コンテンツでは、美術家の光島貴之さんによる作品解説の動画を視聴できます。



学びが深まる・広がる

日文の QR コンテンツ



新版の教科書から利用できる QR コンテンツには、アプリと動画、画像、音声があります。その数は、のべ 1000 以上になり、学校だけでなく、家庭学習でも活用できます。一人ひとりの興味や特性に合わせて選べる多様なコンテンツは、子どもたちそれぞれの好奇心や探求心を刺激し、図画工作のより深い学びを可能にします。



について

詳しくは、別冊『ICT活用で もっと深い学びを!』



すぐに使える Web アプリ



KOMAKOMA × 日文

簡単な操作で、すぐにアニメーション制作を楽しめるアプリです。

アプリを扱う題材
5・6 上 p.12-13
「形に命をふきこんで」



KIRITORI (キリトリ)

タブレット端末のカメラ機能を活用できるアプリです。身の回りの風景を切り取って、形や色のよさや面白さに気付くことができます。

アプリの活用例
5・6 上 p.54-55 「ICT でチャレンジ」



アート・カードアプリ

全 40 種類のアート・カードを使って、楽しみながら鑑賞できるアプリです。

アート・カードの活用例
全巻の巻末「アート・カードを楽しもう」



シンキングツール

シンキングツールをブラウザ上で使うことができます。自分の思いや考えを整理したり、表し方を検討したりする際に活用できます。

授業で使える多様なコンテンツ



材料用具の使い方

全ての題材に、関連する材料や用具の使い方を解説した動画を用意しています。



つくってみよう

仕組みの作り方を動画で分かりやすく紹介しています。
5・6 下 p.22-23 「くるくるクランク」より



仕組みをつくろう



美術作品の解説

教科書に掲載されている美術作品について動画で分かりやすく解説しています。



ずこうたいそう

体と心をほぐして、授業に向かう気持ちをつくる体操を 8 種類用意しました。



作家インタビュー・作品動画

元永定正さん

画家の元永定正さんのインタビューや作品づくりの様子を動画で紹介しています。
3・4 下 p.5-6 「見つけよう感じよう 形と色のいい感じ」より



友だちの作品を見てみよう

1300 を超える全国の児童作品を掲載しています。360° 回転させて見られる作品もあります。

5・6 下 p.54-55 「未来のわたし」より



物語や詩の朗読音声

物語や詩などをもとに発想を広げて表す題材には、朗読音声を用意しています。

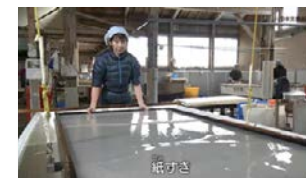


伝統文化の解説動画

和紙ができるまで

紙すきによる和紙づくりの工程を見ることができます(越前和紙)。

5・6 下 p.59「和紙ってすごい!」より



10 番目の感傷 (点・線・面)

造形作家のクワクポリヨウタさんによる光と影から生まれる作品を紹介しています。

3・4 下 p.42-43「光から生まれる形・色」より





教師用指導書のご案内

授業の組み立て方や子どもの支援など実践に即した内容の「朱書編」「図工の授業あんしんブック」、授業研究に役立つ「指導解説編」、学びを広げる「指導者用デジタル教科書（教材）」「QRコンテンツガイドブック」など充実のコンテンツで、先生方の授業づくりをサポートします。

教師用指導書セット内容

朱書編

授業の準備はもちろん教科書紙面と照らし合わせながら活動の流れや評価のポイント、指導の手立てなど授業をイメージできるようにまとめています。

指導解説編

学習指導要領や図画工作科教育の理論について学べる「概論編」と、各題材の授業計画や展開例について詳しく分かる「学習指導案編」を掲載。授業研究に役立ちます。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板に映したりポイントを書き込んだりできるデジタル教科書に加え、評価のポイントを解説した動画や編集可能なワークシート、年間指導計画例など豊富なコンテンツを収録。授業をサポートします。

題材系統表

題材を分野・系統別に配列し、一覧できるようにしています。幼児期との接続ページや特設ページとの関連も示しています。

図工の授業あんしんブック

「図画工作の授業がちよっと苦手」「図画工作の授業をもっとよくしたい」という先生を対象にした冊子です。授業の取り組み方のポイントなどをコンパクトにまとめています。

QRコンテンツガイドブック

「KOMA KOMA×日文」「KIRI TORI（キリトリ）」「アートカードアプリ」の使い方、授業での「ずこうたいそう」の取り入れ方など、QRコンテンツの効果的な活用法を紹介します。

アート・カード／解説冊子

「作品」「素材」「言葉」の3種類のカードを使ってアートゲームをすることができます。解説冊子には、作品の詳しい情報や遊び方、学習指導案例などが掲載されています。

大判掲示資料

身近なものの鑑賞、美術作品などを大判ポスターにしました。授業時に教室に貼って指導したり、図工室に掲示して学びを深めたりすることができます。

※セット内容は変更になる場合があります。



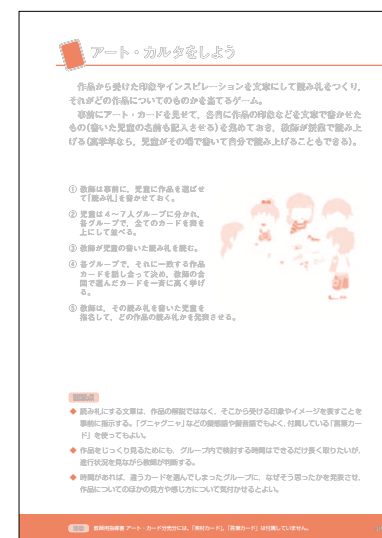
対話が生まれる鑑賞ツール



アート・カード



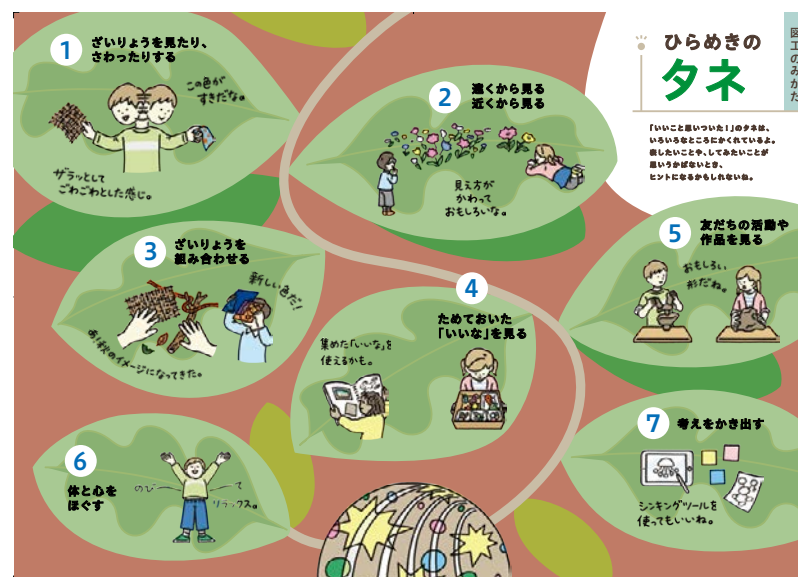
「作品カード」「素材カード」「言葉カード」の3種類のカードを収録。「作品カード」では、美術作品だけではなく、建築や世界遺産まで、他教科との関連にも配慮した幅広い図版を取り上げています。「素材カード」では、身近なものの形や色の面白さや美しさへの気づきを促し、「言葉カード」では、鑑賞の視点になる言葉を示しています。



アート・カード解説

作品の解説、鑑賞を促す発問例、ゲームの仕方、学習指導案などを紹介しています。

大判掲示資料



発想や表現のヒントになる投げかけや美術作品などの大判掲示資料です。黒板に掲示して見せたり、壁に掲示していつでも見られるようにしたり、使い方はさまざまです。

作品の細部まで見える
A1判（ポスター）
サイズ

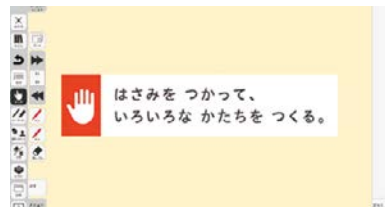


指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板やプロジェクターなどに映して使える先生のためのデジタル教科書です。学習者用デジタル教科書・教材のコンテンツ全てを収録し、さらに「子どもの作品の見方」や評価のポイントなどを解説した動画、編集可能なワークシートデータなども収録。充実の機能とコンテンツで授業をサポートします。



「学習のめあて」を確認



「学習のめあて」をワンクリックで拡大表示でき、子どもと「めあて」を共有する際に効果的です。

細部が大きく見える



紙面だけでは伝わりづらい細かな表現なども「ズーム」機能で拡大して提示することにより理解が深まります。

“黒板感覚”でポイント書き込み



ペン機能を使い、教科書紙面に書き込みしたり、消したりしながら、子どもと共有したい情報を簡単に提示できます。

動画でもっとワクワク



導入のやり取りを動画で紹介。題材のねらいや活動のヒントがちりばめられているので、自分で考えながら発想を広げていきます。

スライドで授業の見通しをもつ



教科書の写真などをスライドにしているため、授業の流れが分かりやすく、見通しをもって活動に取り組みます。

充実の導入コンテンツ

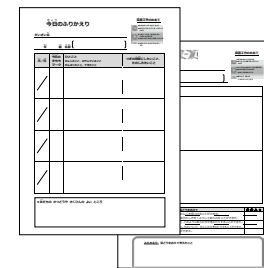
材料・用具の使い方を何度でも

教科書のQRコンテンツに収録している「材料・用具の使い方」をデジタル教科書からスムーズに呼び出せます。必要なときに何度でもパッと提示できます。



複数のワークシートで学びを振り返り

毎時間の終わり、題材の終わりに使える振り返りシートを用意。各ワークシートはPDFとワードデータで収録。題材に合わせてアレンジして利用できます。



指導者にも気付きとひらめきを

図画工作について、研究するための資料動画をご用意。子どもの作品をどうみるの？ 評価をする際のポイントは？ など疑問にお答えする動画を用意。教員研修でも活用できます。



個別最適な学びを支える

学習者用デジタル教科書・教材

学習者用デジタル教材

授業の流れに沿ったコンテンツで一人ひとりの学びを支える



創造的な思考をさらに伸ばす

「デジタル図工ノート」には発想を促すツールや思考の整理に役立つ『シンキングツール』、身近にある「いいな」と思ったことを自由に書き込めるスクラップブックなどアイデアを広げたりまとめたりするコンテンツを収録。一人ひとりの「ひらめき」のアウトプットをサポートします。

ひらめきのヒント



ぞうけいずかん



そのほかにもコンテンツを多数収録

用具の使い方・技法動画

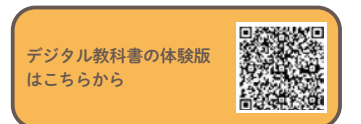
さまざまな視点から考えるヒントを表示。考える視点を変えることで発想を広げていきます。

特別支援機能

リフロー機能、音声読み上げや総ルビ表示など学習を進めやすくするための機能で、一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

学習者用デジタル教科書

学習者支援に特化した一人ひとりの特性にあった学習をサポート



ポイント

1. いつでも拡大、いつでも書き込み

ポイント

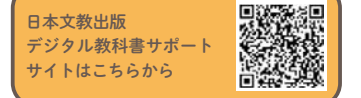
2. 充実した学習者支援機能

ポイント

3. 多様な利用環境に対応

発売に関する情報

商品名 学習者用デジタル教材／学習者用デジタル教科書
発売 2024年4月予定
価格 未定
動作環境 弊社Webサイトにて順次お知らせ致します。



つながる学びと各教科の内容項目との対応

他教科や特別活動、SDGs等と関連させられる題材を多数掲載しています。

児童の経験や既習知識・技能をもとに学習活動を展開したり、教科等横断的な視点で教育課程を組み立てたりすることができます。

- 造 — 造形遊びをする活動
- 工 — 工作に表す活動
- 幼 — 幼児期との接続
- み — 図工のみかた
- 絵 — 絵に表す活動
- 鑑 — 鑑賞する活動
- 美 — 教科書美術館
- 広 — 広がる図工
- 立 — 立体に表す活動

頁	項目	教材内容	つながる学び	内容項目
10-11	絵 幼	どんだんかくのはたのしいな	道徳	A 個性の伸長
12-13	立 幼	ねんどでごちそう なのつくろう	生活	(1) 学校と生活
14-15	工 幼	ちよきちよき かざり	道徳	C よりよい学校生活、集団生活の充実
16-17	造 幼	すなやつちとなかよし	道徳	D 自然愛護
20-21	造	カラフルいろみず	道徳	B 友情、信頼 / C よりよい学校生活、集団生活の充実
22-23	工	おってたてたら	道徳	B 友情、信頼 / C よりよい学校生活、集団生活の充実
24-25	絵	せんせいあのお	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
26-27	工	いっしょにあそぼう ばくばっくん	生活	(1) 学校と生活
28-29	造	べたん コロコロ	体育	A 体づくり運動系 多様な動きをつくる運動遊び
32-33	絵	いろいろなかたの かみに	算数	B 図形
34-35	立	いっしょにおさんぽ	道徳	B 友情、信頼
36	工	たいせつ ボックス	生活	(1) 学校と生活 / (2) 家庭と生活
37	工	わくわくおはなし すごろく	生活	(6) 自然や物を使った遊び / (9) 自分の成長
40-41	絵	おはなし だいすき	国語	(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと / C 読むこと
42-43	造	ならべてならべて	生活	(5) 季節の変化と生活 / (6) 自然や物を使った遊び
44-45	工	スルスルピューン	生活	(6) 自然や物を使った遊び
46-47	造	いっばい つかって なにしよう	算数	A 数と計算 / B 図形
48-49	絵	せんの ぼうけん	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
50-51	立	はこでつくったよ	算数	B 図形

頁	項目	教材内容	つながる学び	内容項目
6-7	絵	きせつを かんじて	道徳	D 自然愛護
8-9	立	にぎにぎねん土	体育	A 体づくり運動系 多様な動きをつくる運動遊び
10-11	造	ひかりの プレゼント	道徳	D 感動、畏敬の念
12-13	絵	とろとろえのぐで	体育	A 体づくり運動系 多様な動きをつくる運動遊び
16-17	絵	ふしぎなたまご	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
18-19	工	わっかで へんしん	生活	(6) 自然や物を使った遊び
20-21	造	しんぶんしとなかよし	道徳	B 友情、信頼
22-23	立	くしゃくしゃぎゅっ	道徳	B 友情、信頼
26-27	絵	こんなことあったよ	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
28-29	工	どんなうごきに見えるかな	生活	(6) 自然や物を使った遊び
30-31	立	ともだちハウス	算数	B 図形
32-33	絵	はさみの あーと	国語	B 書くこと
34-35	工	音づくりフレンズ	音楽	A 表現 (3) 音楽づくりの活動
36-37	立	おもいでを かたちに	道徳	B 親切、思いやり 友情、信頼
38-39	絵	おはなしから 生まれたよ	国語	(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと / C 読むこと
40-41	工	まどをあけたら	算数	B 図形
42-43	造	だんボールに入ってみると!?	算数	B 図形
46	鑑	であって生まれる いろの せかい	道徳	D 感動、畏敬の念
47	造	つないでつるして	道徳	B 友情、信頼
48-49	工	とびだせばよーん	生活	(6) 自然や物を使った遊び
52-53	鑑	草花のおしゃべり	生活	(5) 季節の変化と生活 / (7) 動植物の飼育・栽培

頁	項目	教材内容	つながる学び	内容項目
6-7	絵	かいて見つけるわたしのすきなもの	道徳	A 個性の伸長
14-15	造	ひもでつないで	道徳	B 友情、信頼
18-19	工	空きようきのへんしん	SDGs	11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう / 15 陸の豊かさを守ろう
20-21	絵	あの日あの時の気もち	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
24-29	美	しぜんの色	SDGs	11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう / 15 陸の豊かさを守ろう
25-26	鑑	土をかんじて	SDGs	11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう / 15 陸の豊かさを守ろう
27-28	鑑	お気に入り葉	理科	B 生命・地球 (1) 身の回りの生物
32-33	造	ここがすみか	SDGs	11 住み続けられるまちづくりを / 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう
38-39	絵	ことばから思いうかべて	国語	(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと / C 読むこと
40-41	造	クミクミックス	道徳	B 友情、信頼
43	工	顔を出したらなんだかワクワク	特別活動	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画
46-47	工	マグネットマジック	理科	A 物質・エネルギー (4) 磁石の性質
48-49	鑑	絵を見て話そう	国語・道徳	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと・B 相互理解、寛容
50-51	立	ねん土マイタウン	社会・道徳	A 身近な地域や市区町村の様子について・B 友情、信頼

頁	項目	教材内容	つながる学び	内容項目
5-7	鑑	見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ	道徳	B 相互理解、寛容 / D 感動、畏敬の念
8-9	造	まどをのぞいて	道徳	B 友情、信頼
14-15	工	コロコロガーレ	プログラミング	総則 第3 1 (3)
16-17	み	ひらめきのタネ	プログラミング	総則 第3 1 (3)
18-19	造	わすれられない気持ち	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
20-21	造	組んで立ててつなぐくん	道徳	B 友情、信頼
24-25	鑑	体でかんしょう	体育	F 表現運動系 表現系
26-27	工	ゴムでゴー！ゴー！ ゆめの乗り物	理科	A 物質・エネルギー (2) 風とゴムの力の働き
28-29	絵	まぼろしの花	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
32-33	広	すてられそうなものがよみがえる	SDGs	6 安全な水とトイレを世界中に / 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう / 15 陸の豊かさを守ろう
34-35	工	おもしろだんボールボックス	SDGs	11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう / 15 陸の豊かさを守ろう
36-37	絵	言葉から感じて	国語	(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと / C 読むこと
40-41	工	光とかけから生まれる形	理科	A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質
46-47	造	幸せを運ぶカード	算数・道徳	B 図形・B 感謝 親切、思いやり
50-51	立	ようこそ！ ゆめのまちへ	社会	(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて / (5) 県内の特色ある地域の様子について

頁	項目	教材内容	つながる学び	内容項目
8-11	絵 美	心のもよう	道徳	A 個性の伸長 / B 相互理解、寛容
12-13	工	形に命をふきこんで	ICT	総則 第3 1 (3)
16-17	絵	消してかく	道徳	A 個性の伸長
24-25	絵	あの時あの場所わたしの思い	国語・道徳	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと・C 国際理解、国際親善
28-29	工	ふれて伝えるストーリー	道徳	C 公正、公平、社会正義
30-31	鑑	水から発見 ここきれい！	道徳	B 相互理解、寛容 / D 感動、畏敬の念
32-33	絵	言葉から思いを広げて	国語	(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと / C 読むこと
36-37	広	どんなことをどんな方法で	道徳・SDGs	B 相互理解、寛容 / C 公正、公平、社会正義 10 人や国の不平等をなくそう / 11 住み続けられるまちづくりを
38-39	工	笑顔が生まれるしかけ	道徳	B 親切、思いやり / C よりよい学校生活、集団生活の充実
40-41	絵	まだ見ぬ世界	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
42-43	造	光と場所のハーモニー	理科・プログラミング	A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質 総則 第3 1 (3)
44-45	立 美	ミラクル！ミラーワールド	理科	A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質
50-51	立 美	けずって見つけたい形	道徳	A 個性の伸長 / D 感動、畏敬の念
52-53	工	紙から生まれるすてきな明かり	理科・道徳	A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質 / C 伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する態度 / D 感動、畏敬の念
54-55	工	ICTでチャレンジ	プログラミング	総則 第3 1 (3)

頁	項目	教材内容	つながる学び	内容項目
10-13	絵 美	音の絵	音楽	B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動
14-15	造	糸から生まれるわたしの空間	算数	B 図形
18-19	絵 美	墨と水から広がる世界	社会・道徳	(2) 我が国の歴史上の主な事象について C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
20-21	み	なんでこの形？	理科・算数	B 生命・地球 (3) 生物と環境 / B 図形
22-23	工	くるくるクランク	理科	A 物質・エネルギー (3) てこの規則性
26-27	絵	わたしの大切な風景	国語	A 話すこと・聞くこと / B 書くこと
28-29	工 美	使って楽しい焼き物	社会・道徳	(2) 我が国の歴史上の主な事象について C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
32-33	工	1まいの板から	算数・家庭科	B 図形 / B 衣食住の生活 / (6) 快適な住まい方
34-35	絵	言葉から想像を広げて	国語	(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと / C 読むこと
38・41	美	受けつがれてきた形	社会・道徳	(2) 我が国の歴史上の主な事象について C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
39-40	鑑	もようから見つけて	社会・算数	(2) 我が国の歴史上の主な事象について / B 図形
42-45	造 美	自然を感じるすてきな場所で	SDGs・道徳	11 住み続けられるまちづくりを / 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう B 友情、信頼 / D 自然愛護
46-47	絵 美	版で広がるわたしの思い	道徳	A 個性の伸長 / C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
48-49	広	平和を願って	SDGs・道徳	1 貧困をなくそう / 2 飢餓をゼロに 10 人や国の不平等をなくそう / 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう C 国際理解、国際親善 公正、公平、社会正義
50-51	工	あったらいいなプロジェクト	SDGs・プログラミング	5 ジェンダー平等を実現しよう / 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の基礎をつくらう 総則 第3 1 (3)
54-55	立	未来のわたし	道徳・総合	A 希望と勇気、努力と強い意志 / 各学校の総合的な学習の時間の内容

教材系統表

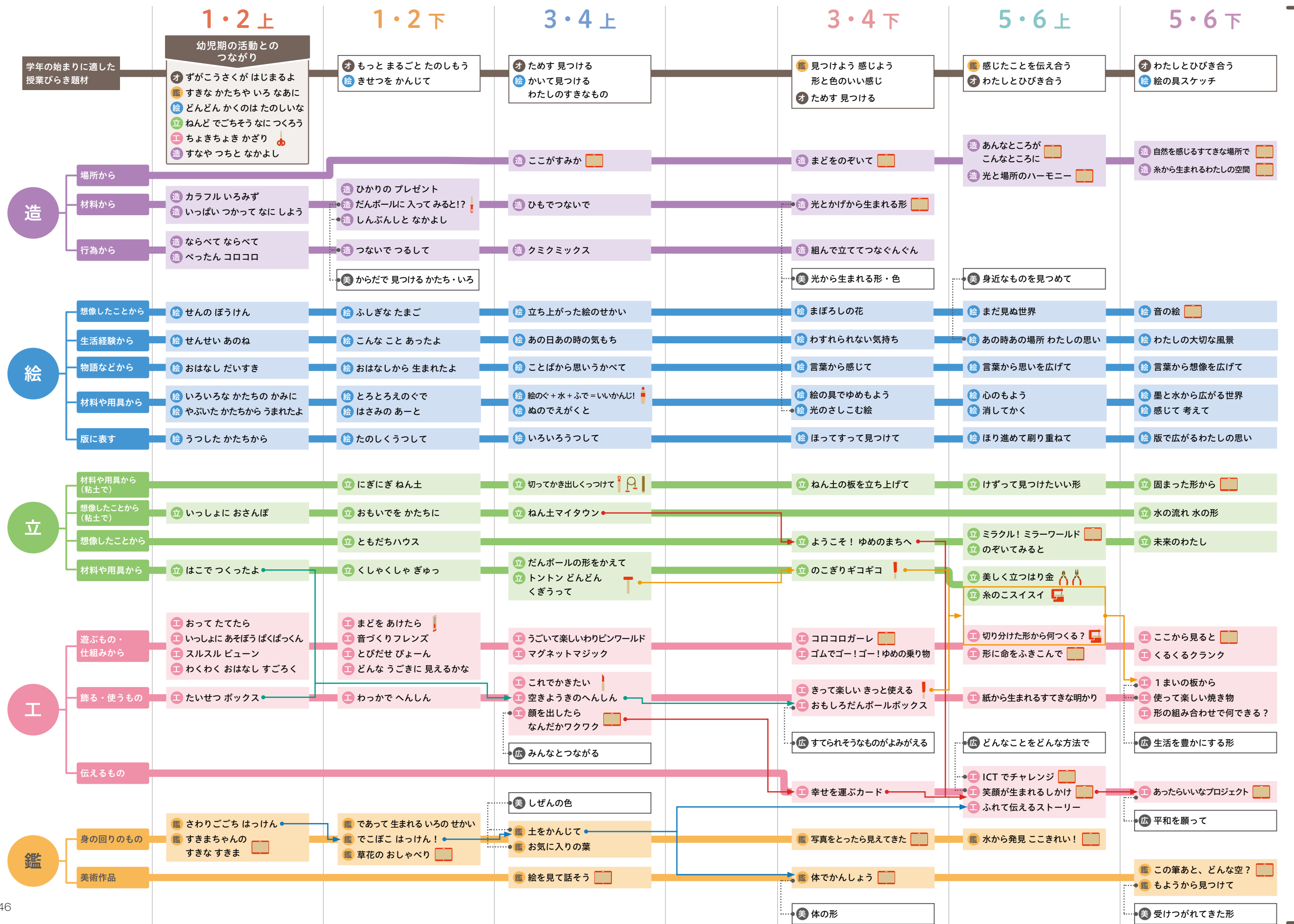
題材は、五つの分野で構成され、活動のねらい、発想のきっかけ、使用する材料や用具などを考慮し、発達の段階とともに学びを深めることができるよう、系統的に配列されています。

- 造 — 造形遊びをする活動
- 絵 — 絵に表す活動
- 立 — 立体に表す活動
- 工 — 工作に表す活動
- 鑑 — 鑑賞する活動
- オ — オリエンテーション
- 美 — 教科書美術館
- 広 — 広がる図工

- 各用具アイコン：用具に出会い試したことをもとに活動する題材
- ICT活用

- つながる学び
- 触るなど行為性
 - アップサイクル
 - 木材の加工
 - 他者と喜びを分かち合う思い
 - 特設ページとの関連性

表現の題材は鑑賞活動と適宜関連して学習できるように、めあてを設定しています。



中学校美術へ

年間指導計画例

ここに示した配当時間や指導計画は例ですので、学校の実態に応じて、題材の選定、配当時間の調整を行い、指導計画を作成してください。別案や複式学級に配慮した指導計画例についてはWebサイトでご覧いただけます。なお、ここでは、第1学年は教科書1・2上、第2学年は1・2下、第3学年は3・4上、第4学年は3・4下、第5学年は5・6上、第6学年は5・6下のそれぞれの内容をもとに年間指導計画を立てることを想定しています。

- 造 — 造形遊びをする活動
 - 工 — 工作に表す活動
 - 幼 — 幼児期との接続
 - 絵 — 絵に表す活動
 - 鑑 — 鑑賞する活動
 - オ — オリエンテーション
 - 立 — 立体に表す活動
- 表現の題材は鑑賞活動と適宜関連して学習できるように、学校や児童の実態に合わせて設定しています。

選択
同一題材での選択：場所や材料など学校や児童の実態に合わせて選択できるように配慮しています。
複数題材での選択：活動のねらいや発想のきっかけが同等の題材を複数用意し、学校や児童の実態に合わせて選択できるように配慮しています。

第1学年						第2学年						第3学年						第4学年						第5学年						第6学年					
2学期制	3学期制	時数	項目	題材名	頁	2学期制	3学期制	時数	項目	題材名	頁	2学期制	3学期制	時数	項目	題材名	頁	2学期制	3学期制	時数	項目	題材名	頁	2学期制	3学期制	時数	項目	題材名	頁	2学期制	3学期制	時数	項目	題材名	頁
前期 (30時間)	1学期 (22時間)	1	幼	どんなことすきだった?	2-3	前期 (32時間)	1学期 (24時間)	2	オ	もっとまるごとたのしもう	5	前期 (26時間)	1学期 (20時間)	2	オ	ためす 見つける	5	前期 (26時間)	1学期 (20時間)	2	鑑	見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ	5-6	前期 (22時間)	1学期 (16時間)	1	鑑	感じたことを伝え合う	5-6	前期 (22時間)	1学期 (16時間)	2	オ	わたしとひびき合う	5
		1	オ	すがこうさくがはじまるよ	4-6			2	絵	きせつを かんじて	6-7			2	オ	かいて見つけるわたしのすきなもの	6-7			2	オ	わたしとひびき合う	7			2	絵	絵の具スケッチ	6-7						
		1	鑑	すきなかたちやいろいろなあに	7-9			2	立	にぎにぎねん土	8-9			2	絵	絵のぐ+水+ふで=いいかんじ!	10-11			4	絵	心のもよう	8-11			4	絵	音の絵	10-13						
		1	絵	どんどこかたちはたのしいな	10-11			2	造	ひかりのプレゼント	10-11			4	工	うごいて楽しいわりピンワールド	12-13			4	工	形に命をふきこんで	12-13			2	造	糸から生まれるわたしの空間	14-15						
		1	選択	すきなものなあに	10-11			2	造	とろとろえのぐで	12-13			2	造	ここがすみか	32-33			2	造	あんなところがこんなところに	14-15			6	工	くるくるクランク	22-23						
		1	選択	わたしのおひさま	10-11			2	鑑	でこぼこ はっけん!	14-15			4	工	ことばから思いうかべて	38-39			2	立	糸のこすいすい	18-19			2	鑑	この筆あと、どんな空?	24-25						
	2学期 (28時間)	2学期 (28時間)	2	立	ねんどで ごちそう なにつくろう	12-13	後期 (38時間)	2学期 (28時間)	2	絵	はさみの あーと	32-33	後期 (34時間)	2学期 (24時間)	4	立	ねん土マイタウン	50-51	後期 (28時間)	2学期 (20時間)	5	工	切り分けた形から何つくる?	20-21	後期 (28時間)	2学期 (20時間)	4	工	使って楽しい焼き物	28-29					
			2	工	ちよきちよき かざり	14-15			6	工	どんなうごきに見えるかな	28-29			4	立	立ち上がった絵のせかい	16-17			6	工	1まいの板から	32-33											
			2	造	すなやつちと なかよし	16-17			6	立	ともだちハウス	30-31			2	鑑	土をかんじて	25-26			4	立	固まった形から	16-17											
			2	選択	すなやつちで	16-17			4	工	わっかで へんしん	18-19			2	鑑	お気に入りのお葉	27-28			4	絵	感じて 考えて	52-53											
			4	絵	やぶいた かたちから うまれたよ	18-19			2	造	こんな ことあったよ	26-27			4	絵	あの日あの時の気もち	20-21			4	絵	墨と水から広がる世界	18-19											
			4	工	おって たてたら	22-23			2	造	しんぶんしと なかよし	20-21			6	立	切ってかき出してくっつけて	8-9			2	立	ここから見ると	8-9											
		後期 (38時間)	3学期 (18時間)	2	造	カラフルいろみず	20-21	後期 (38時間)	3学期 (18時間)	4	工	わっかで へんしん	18-19	後期 (34時間)	3学期 (16時間)	2	立	空きようきのへんしん	18-19	後期 (28時間)	3学期 (14時間)	2	鑑	水から発見 ここきれい!	30-31	後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	わたしの見た大切な風景	26-27				
				4	工	いっしょにあそぼう ぼくぼくくん	26-27			2	立	クミクミックス	40-41			4	立	のぞいてみると	34-35			4	立	言葉から想像を上げて	34-35										
				4	絵	せんせい あのね	24-25			2	鑑	だんボールで	40-41			2	立	ミラクル! ミラーワールド	44-45			2	立	水の流れ 水の形	36-37										
				2	立	いっしょにおさんぽ	34-35			4	工	ボール紙で	40-41			2	造	光と場所のハーモニー	42-43			4	立	未来のわたし	54-55										
				2	造	べったん コロコロ	28-29			4	絵	顔を出したらなんだかワクワク	43			2	立	暗い場所で	42-43			後期 (28時間)	3学期 (14時間)	2	工			落ちて伝えるストーリー	28-29						
				4	絵	おはなし だいき	40-41			2	立	だんボールの形をかえて	42			4	工	明るい場所で	38-39					4	立			美しく立つはり金	26-27						
4	絵	せんせい ぼうけん	48-49	2	絵	めのでえがくと	30-31	6	工	おもしろだんボールボックス	34-35	4	立	紙から生まれるすてきな明かり	52-53																				
2	立	ならべてならべて	42-43	2	工	これでかきたい	36-37	2	立	きって楽しい きつと使える	38-39	4	立	消してかく	16-17																				
6	工	たいせつボックス	36	2	造	ひもでつないで	14-15	2	立	ねん土の板を立ち上げて	10-11	2	立	けずって見つけたいい形	50-51																				
2	鑑	すきまちゃんの すきな すきま	54-55	4	立	トントン どんどん ぎうって	22-23	4	工	幸せを運ぶカード	46-47	6	絵	ほってすって見つけて	48-49																				
後期 (38時間)	3学期 (18時間)	6	工	わくわく おはなし すごろく	37	後期 (38時間)	3学期 (18時間)	4	絵	いろいろなかたちのかみに	32-33	後期 (34時間)	3学期 (16時間)	2	立	いろいろなざいりょうで	44-45	後期 (28時間)	3学期 (14時間)	2	工	ゴムでゴー! ゴー! ゆめの乗り物	26-27	後期 (28時間)	3学期 (14時間)	6	工	写真をとったら見えてきた	52-53						
		2	造	きょうしつにあるもので	42-43			4	絵	はんも生かして	44-45			2	鑑	新聞紙で	20-21			後期 (28時間)	3学期 (14時間)	6	工			写真をとったら見えてきた	52-53								
		6	工	たいせつボックス	36			6	工	マグネットマジック	46-47			6	工	消しゴム版で	39-40					後期 (28時間)	3学期 (14時間)			6	工	版で広がるわたしの思い	46-47						
		2	鑑	すきまちゃんの すきな すきま	54-55			2	造	いろいろなざいりょうで	44-45			4	工	版で広がるわたしの思い	46-47									後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51				
		6	工	わくわく おはなし すごろく	37			2	造	はんも生かして	44-45			2	工	消しゴム版で	39-40											後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51		
		2	造	いっぴいつかって なにしよう	46-47			6	工	マグネットマジック	46-47			6	工	消しゴム版で	39-40													後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51
2	選択	かみコップで	46-47	2	造	いろいろなざいりょうで	44-45	6	工	消しゴム版で	39-40	後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51																		
4	立	はこで つくったよ	50-51	6	工	マグネットマジック	46-47	6	工	消しゴム版で	39-40			後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51																
2	絵	いろいろなかたちのかみに	32-33	2	造	いろいろなざいりょうで	44-45	6	工	消しゴム版で	39-40					後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51														
2	選択	あまったかみのかたちから	32-33	6	工	マグネットマジック	46-47	6	工	消しゴム版で	39-40							後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51												
4	工	スルスルビューン	44-45	2	造	いろいろなざいりょうで	44-45	6	工	消しゴム版で	39-40									後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51										
2	鑑	さわりごち はっけん	38-39	6	工	マグネットマジック	46-47	6	工	消しゴム版で	39-40											後期 (28時間)	3学期 (14時間)	4	工	あったらいいプロジェクト	50-51								
4	絵	うつしたかたちから	52-53	2	造	いろいろなざいりょうで	44-45	6	工	消しゴム版で	39-40	後期 (28時間)	3学期 (14時間)											4	工	あったらいいプロジェクト	50-51								
4	選択	えのぐをつけたかたちから	52-53	6	工	マグネットマジック	46-47	6	工	消しゴム版で	39-40			後期 (28時間)	3学期 (14時間)									4	工	あったらいいプロジェクト	50-51								
4	選択	こすりだしたかたちから	52-53	2	造	いろいろなざいりょうで	44-45	6	工	消しゴム版で	39-40					後期 (28時間)	3学期 (14時間)							4	工	あったらいいプロジェクト	50-51								

※「糸のこすいすい」を選択した場合には、2学期の「のぞいてみると」「ミラクル! ミラーワールド」「美しく立つはり金」からただ一つ選択し、工作題材の時間を増やすなどして、絵や立体に表す活動と工作に表す活動がおおよそ等しくなるように時数を調整してください。

題材配列の意図について

ここで示す題材配列は、他教科等との関連や季節および学習内容を踏まえて実践時期を考慮し、題材を連続させることで学びをより深められる、または材料を有効活用できるように考慮しています。

低学年

- 第1学年前半には、幼児期の学びを生かせるよう、幼児期との接続に配慮した題材を配列しています。
- 夏休みや秋の行事などに関連する題材を配列しています。
 - 第1学年 絵 せんせい あのね
 - 第2学年 絵 こんな ことあったよ
- 鑑賞する題材と絵に表す題材を連続して配列し、鑑賞する活動で触ったり色を混ぜ合わせたりして見付けた形や色の経験を活用して活動できるようにしています。
 - 第1学年 鑑 さわりごち はっけん ▶ 絵 うつしたかたちから
 - 第2学年 鑑 であって生まれるいろのせかい ▶ 絵 ふしぎなたまご/おはなしから生まれたよ
- 箱や新聞紙を使った題材を連続して配列し、材料を有効活用できるようにしています。
 - 箱：第1学年 造 いっぴいつかって なにしよう (はこで) ▶ 立 はこでつくったよ
 - 新聞紙：第2学年 造 しんぶんしと なかよし / つないでつるして ▶ 立 くしゃくしゃぎゅっ

中学年

- 各学年の始まりに適した授業びらきの題材を配列しています。
 - 第3学年 絵 かいて見つけるわたしのすきなもの
 - 第4学年 鑑 見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ
- 理科で学んだ磁石の性質やゴムの力の働きに関連する題材を配列しています。
 - 第3学年 工 マグネットマジック
 - 第4学年 工 ゴムでゴー! ゴー! ゆめの乗り物
- 算数で学んだ三角定規を用いた四角形の書き方に関連する題材を配列しています。
 - 第4学年 工 幸せを運ぶカード
- だんボールを使った題材を連続して配列し、材料を有効活用できるようにしています。
 - 第3学年 造 クミクミックス (だんボールで)
 - 工 顔を出したらなんだかワクワク
 - 立 だんボールの形を変えて

高学年

- 各学年の始まりに適した授業びらきの題材を配列しています。
 - 第5学年 鑑 感じたことを伝え合う
 - 第6学年 絵 絵の具スケッチ
- 視点を意識した鑑賞と表現の題材を連続して配列し、発想を促すことができるようにしています。
 - 第5学年 鑑 水から発見 ここきれい!
 - ▶ 立 のぞいてみると/ミラクル! ミラーワールド
- 繰り返しの模様のよさを味わい、模様づくりを行う鑑賞の題材と、版に表す題材を連続して配置し、知識を活用したり発想を促したりできるようにしています。
 - 第6学年 鑑 もようから見つけて ▶ 絵 版で広がるわたしの思い

地域別事例・作品一覧

全国の事例・作品を掲載

全国のさまざまな造形活動や美術館の取り組み、伝統工芸、美術作品などを掲載し、児童が自分たちの住む地域や全国の地域に関心をもったり、活動の参考にしたりできるよう配慮しています。

北海道

地域	巻	頁	事例・作品
北海道	5・6上	51	札幌駅/安田侃『妙夢』
北海道札幌市	5・6上	57	札幌芸術の森美術館「ハロー！ミュージアム」
	5・6下	40	アイヌ民族文化財団『アットゥシ』/QR
北海道白老町	5・6上	57	QR 民族共生象徴空間ウポポイ
北海道上市幌町	5・6上	70	糠平湖のアイスパブル/QR

東北

青森県	3・4下	61	青森県立郷土館『弥生土器』
	5・6下	47	棟方志功記念館/棟方 志功『光額の柵』
青森県深浦町	5・6上	51	かぶと岩
岩手県	5・6上	56	岩手県立美術館「子ども向け鑑賞カード」
岩手県金ケ崎町	5・6上	36	金ヶ崎芸術大学校「城内農民芸術祭 2021 のポスター」
宮城県	3・4下	32	「魚を取るあみが」
	5・6上	36	アンブレラスカイ
	5・6下	21	片平 孝「おかしなゆき ふしぎなおこり」
宮城県仙台市	3・4下	33	せんだいメディアアテック「ワケあり雑がみ部」
山形県山形市	5・6下	59	山形張り子

関東

茨城県	5・6下	45	QR 水戸芸術館『シンコペーション 崩壊シリーズ # 47629』中谷美二子
栃木県宇都宮市	3・4下	42	クワクボリョウタ『10 番目の感傷(点・線・面)』/QR
栃木県栃木市	3・4上	29	田中 一村『不喰芋と蘇鐵』
栃木県日光市	5・6下	38	日光彫
栃木県益子町	5・6下	29	QR 益子焼
群馬県	1・2上	66	群馬県立館林美術館「アート・カード」
群馬県中之条町	3・4下	33	中之条ビエンナーレ「芸術祭であまったものが」
埼玉県	1・2下	45	津村 耕佑「ぐねぐねブチブチ」
	5・6下	24	埼玉県立近代美術館 『ジヴェルニーの積みわら、夕日』
埼玉県さいたま市	3・4上	53	さいたま国際芸術祭 やじるしえん
	3・4下	43	鉄道博物館/山本容子『過ぎゆくもの』
埼玉県川口市	5・6上	57	川口市立アートギャラリー・アトリア 「アーティスト・イン・スクール」
埼玉県所沢市	5・6上	57	角川武蔵野ミュージアム
千葉県	5・6下	41	房州うちわ
千葉県千葉市	5・6上	53	夜灯祭
	5・6上	57	QR ホキ美術館
千葉県船橋市	5・6上	57	ふなばしアンデルセン公園子ども美術館
東京都	1・2上	57	QR 山添 Joseph 勇「ざいりょうをならべたら」
	1・2下	44	手塚 貴晴『ダンボールのどうくつ』
	1・2下	45	チームラボ『弾む水の天才ケンケンパ』
	1・2下	45	堀内 紀子『おくりもの：未知のポケット 2』
	3・4上	49	京都国立近代美術館/岡本 太郎『燃える人』/QR
	3・4上	52	「学校で」
	3・4下	22	東京国立近代美術館/高村 光太郎『手』/QR
	3・4下	22	東京国立博物館『三代目大谷鬼次の江戸兵衛』/QR
	3・4下	55	QR 熊野 亘「自ぜんの中のざいりょう」
	5・6上	56	佐藤 卓『オノマトベの屋上』
	5・6上	69	東京国立博物館『婦人相十品』「ポピンを吹く娘」/QR
	5・6下	25	大下 藤次郎『水辺風景』
	5・6下	30	渡辺 優『おぼけチェスト』
	5・6下	38	切子細工
	5・6下	41	室瀬 和美『柏葉蒔絵螺鈿六角合子』
	5・6下	41	東京国立博物館『色絵毘沙門亀甲文皿』/QR
東京都千代田区	3・4下	32	「高速道路で使い終わったものが」
東京都港区	5・6上	69	根津美術館『燕子花図屏風』右隻/QR
東京都新宿区	3・4下	5	SOMPO 美術館『いろいろきてる！』/QR

東京都墨田区	5・6上	69	すみだ北斎美術館『富嶽三十六景「神奈川冲浪裏」』/QR
東京都世田谷区	5・6上	23	世田谷美術館『暮しの手帖』第1世紀7号 表紙原画/QR
東京都渋谷区	5・6下	29	戸栗美術館『色絵 菊花形皿』
東京都立川市	1・2下	44	PLAY! PARK『ダンボールの どうくつ』 『ぐねぐねブチブチ』
	5・6下	9	ファール立川『背中あわせの円』
東京都三鷹市	3・4下	51	三鷹天命反転住宅
神奈川県	1・2下	55	QR 岡崎 智弘「かみいろいろ」
	3・4上	53	「ショッピングモールでの展示」
	3・4下	32	島津 冬樹「だんボールが」
	5・6上	37	「駅のこう内での展示」
	5・6上	56	隈 研吾「角川武蔵野ミュージアム」
神奈川県横浜市	3・4上	29	東山 魁実『散り紅葉(京洛四季スケッチより)』/QR
	3・4上	52	QR ヨコハマトリエンナーレ
	3・4上	53	「SDGs アートウォール・プロジェクト」
	3・4上	55	QR Boojiil「絵の具がつくるたかさんの色」
	5・6下	65	横浜美術館「オンライン美術館に行こう」
神奈川県相模原市	3・4上	52	造形「さがみ風っ子展」
神奈川県箱根町	1・2下	45	箱根彫刻の森美術館『おくりもの：未知のポケット 2』

中部

新潟県	1・2下	44	大地の芸術祭 越後妻有 アートトリエンナーレ 2015『実の音』/QR
	3・4下	23	土田 麦穂『罰』/QR
	3・4下	32	「家をたてる時にあまった木が」加治 聖哉
新潟県十日町市	5・6下	31	十日町市博物館『火焰型土器』
富山県	5・6上	56	富山県美術館『オノマトベの屋上』
富山県富山市	5・6上	39	季節の音階段
石川県金沢市	1・2下	44	金沢 21 世紀美術館『スイミング・プール』
	5・6上	57	QR 金沢 21 世紀美術館
福井県福井市	3・4下	64	福井市美術館「ヒロくんのアートカードセット」
福井県越前市	5・6下	59	越前和紙(和紙繊維でできた靴下)/QR 越前和紙、 ふすま紙
山梨県	3・4上	24	栗田 宏一『土のライブラリー』/QR
	5・6下	37	山梨県立美術館「手で見る展覧会」
長野県	1・2下	64	長野県立美術館「ふれるアート・カード」
	3・4上	29	長野県立美術館『散り紅葉(京洛四季スケッチより)』/QR
	3・4下	55	QR 上原かなえ「自ぜんの中のざいりょう」
	5・6上	28	長野県立美術館『まち歩き-善光寺参道から信濃美術館へ』/QR
	5・6上	37	「ふれる小さな長野県立美術館」
	5・6上	57	藤森 照信「浜松市秋野不矩美術館」
長野県飯田市	3・4上	29	飯田市美術館/菱田 春草『春秋(双幅)』う ち右幅/QR
岐阜県	1・2下	44	渡辺 泰幸『実の音』
	5・6下	59	美濃和紙(水うちわ)/QR 美濃和紙、和傘
静岡県	3・4下	24	静岡県立美術館『考える人』/QR
	5・6上	23	大島 理恵「スケッチ」/QR
	5・6上	39	郵便差出箱
	5・6上	57	池田 正一「ふなばしアンデルセン公園子ども美術館」
	5・6下	19	久山 一枝『流』/QR
静岡県静岡市	5・6上	36	葵区 PR キャラクター あおいくん
静岡県浜松市	5・6上	57	浜松市秋野不矩美術館
愛知県	3・4上	64	愛知県美術館「あいバック」
	3・4下	51	荒川 修作『三鷹天命反転住宅』
愛知県名古屋	5・6上	56	名古屋美術館『ファブニール・ドラゴン II』
愛知県豊橋市	3・4上	52	「子ども造形パラダイス」
愛知県岡崎市	3・4上	52	「造形おかげさっ子展」

近畿

三重県	3・4下	5	元永 定正『いろいろきてる！』/QR
	5・6下	68	三重県立美術館「アートカードみえ」
滋賀県甲賀市	5・6下	57	QR やまなみ工房「自分の好きなように自分を表現する」
京都府	3・4下	23	京都国立近代美術館『罰』/QR
	5・6上	28	光島 貴之『まち歩き-善光寺参道から信濃美術館へ』/QR
	5・6下	38	京都国立博物館/幸野 襟嶺『萌葱塩瀬地百鳥文様 友禅染打掛』/QR
	5・6下	39	QR 東福寺「本坊庭園」
京都府京都市	3・4下	22	高山寺『鳥獣人物戯画』/QR
	3・4下	25	建仁寺、京都国立博物館寄託『風神雷神図屏風』/QR
大阪府	5・6上	5	新宮 晋『シグナル』/「光のさざ波」ほか/QR
	5・6上	56	国立国際美術館
大阪府大阪市	5・6上	37	浸水深サイン(どうぶつものさし)
大阪府和泉市	5・6下	59	和泉市久保徳記念美術館『貫之集下 断簡(石山切)』
兵庫県	3・4上	52	「学校で」
	5・6上	5	風のミュージアム『シグナル』/QR
	5・6上	23	花森 安治「暮しの手帖」第1世紀7号 表紙原画/QR
兵庫県神戸市	3・4上	53	「神戸っ子アートフェスティバル」
兵庫県丹波篠山市	5・6下	29	QR 丹波焼
奈良県	3・4下	61	奈良県立権原考古学研究所附属博物館「馬形埴輪」
奈良県奈良市	3・4下	22	東大寺『金剛力士像 吽形』/QR
奈良県明日香村	5・6下	45	QR 石舞台古墳「霧立つ Asuka... 息吹く古代の 夢# 47780」中谷美二子

中国・四国

鳥取県	5・6下	59	因州和紙(ランブシェード)
島根県	5・6上	57	QR 島根県立美術館
	5・6下	25	島根県立石見美術館『水辺風景』
岡山県	3・4上	53	岡山県立美術館「みんなの参観日」
	5・6上	37	三宅 精一「視覚障害者誘導用ブロック」
岡山県倉敷市	5・6上	57	QR 大原美術館
岡山県備前市	5・6下	29	備前焼/QR
岡山県・香川県	3・4上	52	QR 瀬戸内国際芸術祭
広島県	5・6下	48	原 廣司「3,000 枚の原爆ドームの絵」
広島県広島市	5・6下	25	QR ひろしま美術館『ポルトリユー、グールヴロ』
	5・6下	48	原爆ドーム
広島県・島根県・山口県	5・6上	36	ひろしま都市犬はっしー
香川県	5・6上	6	香川県立ミュージアム『ミラー(トルソ)』/QR
	5・6上	23	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/猪熊 弦一郎『無題』/QR
香川県観音寺市	1・2下	45	一の宮公園『オクテトラ』
愛媛県	5・6上	59	QR 山中俊治「空想を形にするために」

九州

福岡県	5・6上	45	チームラボフォレスト 福岡-SBI 証券「タイフーン ボールと重力にあらがう呼応する生命の森」 「大学生によるまちの問題解決プロジェクト」
	5・6上	53	八女手漉和紙(線香花火)
	5・6下	59	
福岡県北九州市	3・4上	52	「オンラインライブペインティング」
福岡県福岡市	3・4下	23	あいろふ『無題』/QR
	5・6上	37	西島 伊三雄/西島 雅幸「地下鉄駅のシンボルマ ーク」
	5・6上	56	福岡市美術館「どこでも美術館 ティーチャーズプラス」
佐賀県	5・6下	29	『色絵 菊花形皿』(伊万里焼)
	5・6下	30	森 正洋『ファンシーカップ』
	5・6下	41	『色絵毘沙門亀甲文皿』/QR
佐賀県有田町	5・6下	29	QR 有田焼
長崎県長崎市	5・6下	49	「平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき ~国際子ども平和壁画展~」
熊本県	5・6上	36	くまモン
大分県	5・6上	23	大分県立美術館/高山 辰雄『たべる』/QR
	5・6上	57	大分県立美術館「シャドウ・スティックの森 三角形の影と陰」
大分県日田市	5・6下	29	小鹿田焼
宮崎県	5・6上	68	宮崎県立美術館「アートボックス」
鹿児島県鹿児島市	3・4下	33	かごしま環境未来館「古くなったとび箱が」
鹿児島県奄美市	3・4上	29	個人蔵、田中一村記念美術館寄託『不喰芋と蘇鐵』
鹿児島県湧水町	5・6上	57	霧島アートの森『あなたこそアート』
沖縄県那覇市	5・6下	40	那覇市歴史博物館『黄色地社丹尾長鳥霞文様紅型 縮緬袷衣裳』/QR

世界の国や地域

地域	巻	頁	事例・作品
アメリカ	1・2下	45	イサム・ノグチ『オクテトラ』
	3・4上	48	オルブライト=ノックス美術館『アルルカンの カーニバル』/QR
	3・4下	23	キース・ヘリング『無題』/QR
	3・4下	51	マドリン・ギンズ『三鷹天命反転住宅』
	5・6上	6	イサム・ノグチ『ミラー(トルソ)』/QR
	5・6上	11	シェルドン美術館『無題』『イエローバンド』
	5・6上	56	アレクサンダー・コールダー『ファブニール・ド ラゴン II』
	5・6上	69	ニューヨーク近代美術館『ブロードウェイ・ブギ ウギ』/QR
	5・6上	69	シカゴ美術館『睡蓮』/QR
	5・6上	70	ニューヨーク近代美術館『眠るジブシー女』/QR
	5・6下	14	グッゲンハイム美術館『コンポジションVIII』
	5・6下	23	ニューヨーク近代美術館『星月夜』/QR
	5・6下	38	メトロポリタン美術館『朝顔図屏風』/QR
	5・6下	45	QR エメラルド・ネックレス公園『FogxFLO FogxCanopy # 72509』中谷美二子
アルゼンチン	1・2下	44	レアンドロ・エルリッヒ『スイミング・プール』
	5・6下	27	『わたしのペット』(外国の友だちの絵)
イギリス	5・6上	70	ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館/ウィ リアム・モリス『いちご泥棒』/QR
	5・6下	45	アンディ・ゴールズワージー『ナナカマドの葉と 穴』
インド	5・6上	25	『学校に行く』(外国の友だちの絵)
ウクライナ	3・4上	21	『週末』(外国の友だちの絵)
オーストラリア	5・6上	70	美術史美術館『パベルの塔』/QR
オランダ	5・6上	69	ビエト・モンドリアン『ブロードウェイ・ブギ ウギ』/QR
	5・6上	69	マウリッツハイス美術館/ヨハネス・フェルメ ール『真珠の耳飾りの少女』/QR
	5・6上	70	ピーテル・ブリューゲル『パベルの塔』/QR
	5・6下	24	フィンセント・ファン・ゴッホ『星月夜』/QR
スイス	3・4下	23	モビリアール美術コレクション/フェルディナ ンド・ホドラー『木を伐る人』/QR
	5・6下	9	フェリーチェ・ヴァリエーニ『背中あわせの円』
スペイン	3・4上	48	ジョアン・ミロ『アルルカンのカーニバル』/QR
	5・6下	48	国立ソフィア王妃芸術センター/パブロ・ピカソ 『ゲルニカ』/QR
タイ	1・2上	25	『どうぶつえん』(外国の友だちの絵)
	3・4下	19	『ゴムの木からゴム集め』(外国の友だちの絵)
大韓民国	5・6上	57	チェ・ジョンファ『あなたこそアート』
中華人民共和国	5・6上	69	甘肃省博物館『銅奔馬』/QR
デンマーク	3・4下	43	オラファー・エリアソン『あなたに今起きている こと、起きたこと、これから起きること』
ノルウェー	5・6上	69	オスロ国立美術館/エドヴァルド・ムンク『叫び』 /QR
フランス	3・4下	24	オーギュスト・ロダン『考える人』/QR
	5・6上	22	アンリ・マティス『金魚』/QR
	5・6上	69	クロード・モネ『睡蓮』/QR
	5・6上	70	アンリ・ルソー『眠るジブシー女』/QR
	5・6上	70	ルーヴル美術館『サモトラケのニケ』/QR
	5・6上	70	アンリ・マティス『ダンス』/QR
	5・6上	70	『ラスコー洞窟壁画』/QR
	5・6下	24	クロード・モネ『ジヴェルニーの積みわら、夕日』 /QR
	5・6下	25	QR ポール・シニャック『ポルトリユー、グール ヴロ』
マレーシア	1・2下	27	『お正月』(外国の友だちの絵)
ラトビア	5・6上	11	マーク・ロスコ『無題』『イエローバンド』
ロシア	5・6上	22	プーシキン美術館『金魚』/QR
	5・6上	70	エルミタージュ美術館『ダンス』/QR
	5・6下	13	ヴァシリー・カンディンスキー『コンポジション VIII』

※ QR … QR コンテンツのみで紹介しているものは、行頭にマークで示しています。教科書と両方で紹介している事例も多数あります。

※ QR コンテンツには、複数の二次元コードから見られるものもあります。

※ 作品名は『』で、取り組みなどは「」で示しています。

教科書検討の観点から見た内容の特色



1. 教育基本法及び学校教育法との関連

教科書検討の観点	教科書の特色	関連する教科書のページ	
教育基本法 第一条	【第一号】 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	全教材を通して ・各巻の「教科書美術館」 ・各巻の「材料と用具のひきだし」	
	【第二号】 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	一人ひとりの価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう、図画工作科の目標を共有する「オリエンテーションページ」が設けられている。 将来の自分の生活や職業について想像してつくる題材や、つくることを職業としている人を紹介するページが設けられ、造形や美術と職業との関連が示されている。 また、題材ページや特設ページにおいて、工芸品や、家庭で作品を使っている様子、生活の中で出会う造形などが掲載され、造形や美術が生活と関連していることが示されている。	・各巻の「オリエンテーションページ」 1・2上 p.4-6、1・2下 ~ 5・6下 p.5-7 ・職業との関連 5・6下 p.54-55 「未来のわたし」、裏表紙「つくる人」 ・工芸品との関連 5・6下 p.28-29 「使って楽しい焼き物」、p.30-31 「生活を豊かにする形」、p.38-41 「受けつがれてきた形」「もようから見つけて」、p.59 「和紙でつごい!」 ・家庭で作品を使っている様子 3・4上 p.18-19 「空きようきのへんしん」 3・4下 p.34-35 「おもしろだんボールボックス」、p.38-39 「きって楽しいきつと使える」 5・6下 p.28-29 「使って楽しい焼き物」 ・生活の中で出会う造形 1・2上 p.7-9 「すきな かたちや いろ なあに」、各巻の「図工のみかた」、各巻の「教科書美術館」
	【第三号】 正義と責任、男女の平等、他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	協力して行うことで、満足感や達成感を得られるような題材が設定されている。また、互いの作品や活動について話し合い、それぞれの違いやよさを認め合う様子が多く掲載されている。 主体的に社会に参画する態度を養うために、「広がる図工」では、さまざまな地域の方とともに協働し、造形活動をする様子が掲載されている。	全教材を通して ・各巻の「広がる図工」
	【第四号】 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	身の回りの自然に親しむ造形活動を通して、自然のよさを体感できる活動が掲載されている。 図画工作科を通して生命や環境について考えを深められるような題材や事例が掲載されている。	1・2上 p.16-17 「すなやつちと なかよし」、p.42-43 「ならべてならべて」 1・2下 p.6-7 「きせつを かんじて」、p.52-53 「草花のおしゃべり」 3・4上 p.24-29 「しぜんの色」、p.25-26 「土をかんじて」、p.27-28 「お気に入りの葉」、p.32-33 「ここがすみか」 3・4下 p.20-21 「組んで立ててつなぐくんぐん」木のえだで 5・6下 p.42-45 「自然を感じるすてきな場所で」 3・4上 p.52-53 「みんなとつながる」神戸子アートフェスティバル、SDGs アートウォール・プロジェクト 3・4下 p.32-33 「すてられそうなものがよみがえる」 5・6下 p.50-51 「あったらいいなプロジェクト」
	【第五号】 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	日本の伝統文化に関わる題材や、伝統工芸、美術作品などが掲載され、実際に表現したり鑑賞したりすることでそのよさを深く理解できるように工夫されている。 諸外国の児童の作品や作家の作品、建築物などを取り上げ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解し学ぶ中で、国際理解の大切さや平和の発展に寄与する態度が身に付くように工夫されている。	3・4下 p.22-23 「体の形」、p.24-25 「体でかんしょう」 5・6下 p.18-19 「墨と水から広がる世界」、p.28-29 「使って楽しい焼き物」、p.39-40 「もようから見つけて」 ・「外国の友だちの絵」 1・2上 p.24-25 「せんせい あのね」 1・2下 p.26-27 「こんな こと あったよ」 3・4上 p.20-21 「あの日あの時の気持ち」 3・4下 p.18-19 「わすれられない気持ち」 5・6上 p.24-25 「あの時の場所 わたしの思い」 5・6下 p.26-27 「わたしの大切な風景」 ・諸外国の作家作品・建築物 各巻の「教科書美術館」 各巻の「教科書美術館 ミニ」(3・4下 p.51、5・6上 p.11、5・6下 p.9、p.13、p.45) 3・4上 p.48-49 「絵を見て話そう」 5・6下 p.24-25 「この筆あと、どんな空？」 ※本書 p.51 も合わせて参照
学校教育法	学校教育法との関連	学校教育法に示された教育の目的および目標に即し、題材の設定や作品、写真の選択、文章表現などについて十分配慮されている。 特に、学校教育法第 30 条第 2 項に示された「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」について、資質・能力の三つの柱に基づく「学習のめあて」を全題材に設定するなど、重視されている。また、「ふりかえり」では学びに向かう力、人間性等について、関連する投げかけがなされている。	全教材を通して ・各巻の「教科書の使い方」における「学習のめあて」についての解説(1・2上 p.67、1・2下 ~ 5・6下 p.3) ・題材ページにおける「学習のめあて」及び「ふりかえり」

2. 学習指導要領との関連

教科書検討の観点	教科書の特色	関連する教科書のページ
社会に開かれた 教育課程	各巻の「教科書の使い方」では、図画工作科の目標に基づく「学習のめあて」について説明し、「何をどのように学ぶのか」を児童や保護者、地域の方と共有できるように工夫されている。また、「保護者の方へ」では、図画工作科を学ぶ意義が伝えられている。 題材での活動や学びを家庭でも生かしたり、地域の施設などの展示を通して学校での学びを地域の方に伝える事例や、地域の方と協働して活動する事例が多数掲載され、図画工作科における社会との連携が例示されている。	・各巻の「教科書の使い方」(1・2上 p.67-68、1・2下 ~ 5・6下 p.3-4) ・「保護者の方へ」(1・2上 p.68、1・2下 ~ 5・6下 p.2) ・家庭で作品を使っている様子 3・4上 p.18-19 「空きようきのへんしん」 3・4下 p.34-35 「おもしろだんボールボックス」、p.38-39 「きって楽しいきつと使える」 5・6下 p.28-29 「使って楽しい焼き物」 ・地域と連携した活動例は、主に「広がる図工」に掲載 3・4上 p.52-53 「みんなとつながる」 3・4下 p.32-33 「すてられそうなものがよみがえる」 5・6上 p.36-37 「どんなことをどんな方法で」、p.52-53 「紙から生まれるすてきな明かり」、p.56-57 「美術館へ行こう」
	全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮されている。表現の活動においてもお互いの作品を見合うなど、鑑賞している情景写真が掲載されている。 「学習の進め方」では、教科書を活用し、活動やめあてを確認し、表現と鑑賞を往還しながら教科の目標に沿って学習を進めていく流れを、イラストとともに分かりやすく示している。 造形的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、紙面全体を通して、児童が対象や事象を造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすことができるように、図版やふきだしなどが配置されている。 題材ページや教科書美術館には「鑑賞のヒント」が示されており、造形的な見方・考え方を働かせながら、作品や活動を見ることができるよう工夫されている。 生活や社会の中の形や色など豊富に関わる資質・能力を育成するために、題材ページには「ふりかえり」が設定され、題材で学んだことが生活や社会とどう関わっているかを考えられるように工夫されている。また、1・2下、3・4下では、2年間を通じた学びの振り返りページが設けられ、学習指導要領の学年の目標に合わせて、どのような力が身に付いたのかを確認することができるようになっている。5・6下には「図画工作での学びをふり返ってみよう」のページが設けられ、6年間の学びを振り返り、生活や人生にどう生かしていけるのか考えられるよう工夫されている。 生活や社会の中の形や色など豊富に関わる資質・能力を育成するために、題材での活動や学びを家庭でも生かしている様子や、造形を通して地域や社会とつながる活動などが紹介されている。	全教材を通して ・「学習の進め方」(1・2下 ~ 5・6下 p.3-4) 全教材を通して ・題材ページや教科書美術館における「鑑賞のヒント」 ・全ての題材ページにおける「ふりかえり」 ・2年間の学びを振り返るページ 1・2下 p.54 「どんな こと したのかな」 3・4下 p.54 「どんなことをためしたかな どんなことを見つけたかな」 ・6年間の学びを振り返るページ 5・6下 p.66-67 「図画工作での学びをふり返ってみよう」 ・学びを家庭で生かしている様子 1・2上 p.54-55 「すきまちゃんのスきな すきま」 1・2下 p.14-15 「でこぼこ はっけん!」 3・4上 p.18-19 「空きようきのへんしん」 3・4下 p.34-35 「おもしろだんボールボックス」、p.38-39 「きって楽しいきつと使える」 5・6下 p.28-29 「使って楽しい焼き物」 ・地域と連携した活動例は、主に「広がる図工」に掲載 3・4上 p.52-53 「みんなとつながる」 3・4下 p.32-33 「すてられそうなものがよみがえる」 5・6上 p.36-37 「どんなことをどんな方法で」、p.52-53 「紙から生まれるすてきな明かり」、p.56-57 「美術館へ行こう」
教科の目標	全ての題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」を設け、資質・能力の三つの柱の育成が実現できるよう工夫されている。 児童が「自分の感覚や行為を通して」造形的な視点(知識)について理解できるよう、感覚や行為を大切に題材が扱われている。また、内容の取扱い(3)(共通事項)のAの指導に示された知識に関する指導事項に基づき、低・中・高学年と経験を重ねていけるよう、題材が配置されている。 「図工のみかた」では、身の回りにある形や色などを造形的な見方・考え方で捉えることを促し、知識の習得につなげられるよう工夫されている。 「教科書美術館」では、学年に応じたテーマを設定し美術作品などを掲載しており、これらを鑑賞することを通して各学年の(共通事項)(知識)に気付けるよう工夫されている。 同じ用具を繰り返し使うことで用具の扱いに慣れるとともに、確実に技能を積み上げていけるよう題材配列が配慮されている。 題材ページに、「特に大切なめあてのヒント(表現のヒント)」「鑑賞のヒント」を示すことで、児童が造形的な見方・考え方を働かせながら活動できるよう促し、知識や技能の習得・活用を助ける工夫がされている。 技能の基礎を支え、児童が自分の思いをもとに活動を充実させることができるように、材料や用具の取り扱いについて「材料と用具のひきだし」として各巻末9ページでまとめ、写真やイラストで丁寧に説明されている。	全教材を通して 全教材を通して 全教材を通して 全教材を通して ・題材ページにおける「特に大切なめあてのヒント(表現のヒント)」及び「鑑賞のヒント」 ・各巻の「材料と用具のひきだし」

思考力、判断力、表現力等	題材ページに「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」を示すことで、児童が発想を広げ、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるよう工夫されている。	・題材ページにおける「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」及び「鑑賞のヒント」
	題材ページに「鑑賞のヒント」を示すことで、友だちの作品などを鑑賞しながら活動を進められるよう促し、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるよう工夫されている。	・題材ページにおける「鑑賞のヒント」
	題材ページには多様な児童作品が掲載されており、作品を鑑賞したり、発想や構想を広げたりできるよう工夫されている。	全ての題材ページで
	3・4下「ひらめきのタネ」にはさまざまな発想の方法が示されており、児童が自ら思考力、判断力、表現力等を発揮できるように工夫されている。	3・4下 p.16-17「ひらめきのタネ」
	各巻の「教科書美術館」や「教科書美術館ミニ」には、作家作品や伝統文化、工芸品など多様な美術作品が大きな図版で掲載されており、鑑賞することを通してよさや美しさを感じ取ったり考えたりできるよう工夫されている。	・各巻の「教科書美術館」 ・各巻の「教科書美術館ミニ」(3・4下 p.51、5・6上 p.11、p.45、p.51、5・6下 p.9、p.13、p.19、p.29、p.45、p.47)
	高学年の絵の題材では、どの児童も発想を広げられるように、表したいことを考えるための視点やキーワード、活動例などが具体的に示されている。	5・6上 p.8-11「心のもよう」、p.24-25「あの時の場所わたしの思い」、p.32-33「言葉から思いを広げて」 5・6下 p.10-13「音の絵」、p.26-27「わたしの大切な風景」、p.34-35「言葉から想像を広げて」
	絵や工作の題材ページでは、ワークシートやアイデアスケッチを掲載することで、児童がどのように発想や構想を広げていけばよいか考える際のヒントになるよう工夫されている。	3・4下 p.34-35「おもしろだんボールボックス」 5・6上 p.65「タブレットたん末を活用する」では、タブレット端末を使ってアイデアや計画をまとめる方法について提案しています。 5・6下 p.10-13「音の絵」、p.28-29「使って楽しい焼き物」、p.32-33「1まいの板から」、p.50-51「あったらいいなプロジェクト」
	どの題材においても児童が「思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく」ことができるように、多様な発想のきっかけをもつ題材が配列されている。	全教材を通して

学びに向かう力、人間性等	オリエンテーションページでは、図画工作科ではどんなことを学ぶのか児童に分りやすい言葉と活動例で示しており、図画工作科で育成を目指す学びに向かう力、人間性等を養えるよう配慮されている。	・各巻のオリエンテーションページ 1・2上 p.4-6、1・2下 ～ 5・6下 p.5-7
	学習指導要領の趣旨を踏まえ、「学びに向かう力、人間性等」のうち「主体的に学習に取り組む態度」については、「学習のめあて」において分りやすい言葉で示され、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。	・全ての題材ページにおける「学習のめあて」 
	「学びに向かう力、人間性等」のうち、「感性や思いやり」など観点別評価になじまない部分については、「ふりかえり」に活動を通して感じたり考えたりしてほしいこととして例示し、児童一人ひとりの気付きを大切に、学びを人生や社会に生かそうとすることができるよう工夫されている。	・全ての題材ページにおける「ふりかえり」 

主体的な学び	5・6下「図画工作での学びをふり返ってみよう」では、6年間の学びを振り返って身に付いた力を自覚するとともに、中学校でも学び続ける気持ちをもてるよう工夫されている。	5・6下 p.66-67「図画工作での学びをふり返ってみよう」
	各巻の「教科書の使い方」「学習の進め方」及びオリエンテーションページでは、図画工作科では何をどのように学ぶのかについて教科書の使い方とともに示し、児童が学ぶことに興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	・各巻の「教科書の使い方」「学習の進め方」及びオリエンテーションページ 1・2上 p.67-68、p.4-6、1・2下 ～ 5・6下 p.3-7
	題材は、多様な児童が興味・関心をもつことができるように、さまざまな発想のきっかけから活動に取り組めるものになっている。	全教材を通して

対話的な学び	実際の授業を撮影した写真が用いられ、児童が親近感をもち、写真の豊かな表情に触れながら、活動に興味・関心をもつことができるよう工夫されている。また、題材名や導入の言葉、題材名のデザイン上の工夫、図版のサイズに大小の動きをもたせた構成などによって、児童がより興味・関心をもって活動ができるよう紙面作成されている。	全教材を通して
	各題材に「学習のめあて」が示されており、児童が見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。また、活動の終わりには「ふりかえり」を促す問いかけがあり、身に付いた力を児童が自覚するとともに、学びを次の活動にもつないでいけるよう工夫されている。	・題材ページにおける「学習のめあて」及び「ふりかえり」
	児童が考えを伝え合ったり、友だちと相談したりしながら協働して造形活動を行う様子が紹介され、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように工夫されている。	全教材を通して

「ともだちの さくひんをみてはなそう」、「友だちと作品を見て話そう」	「ともだちの さくひんをみてはなそう」、「友だちと作品を見て話そう」では、作品や活動を互いに見合い、感じたことや考えたことを伝え合う活動を促すことで、対話的な学びにつながるよう工夫されている。	1・2上 p.56「ともだちの さくひんをみてはなそう」 3・4上 p.54、5・6上 p.58「友だちと作品を見て話そう」
	「広がる図工」では、児童が保護者の方や地域の方、作家など多様な人々と出会い協働して活動している様子が掲載され、対話をしながら考えを広げていくことを促す工夫がされている。	・各巻の「広がる図工」
	5・6下裏表紙の「つくる人」や、各巻の「材料と用具のひきだし」QRコンテンツでは、さまざまな分野で活躍している作家やアーティストの言葉を、作品や制作の過程とともに紹介することで、友だちなどの身近な人だけでなく、専門家の考え方も手がかりにしながら考えることを促す工夫をしている。	・「つくる人」(5・6下 裏表紙) ・「材料と用具のひきだし」QRコンテンツ(3・4上 p.55、3・4下 p.55、5・6上 p.59、5・6下 p.57)

深い学び	深い学びの鍵となる「造形的な見方・考え方」を働かせて、児童が自ら表現したいことやつくりたいことを見付けられるように、題材の設定が十分に配慮されている。	全教材を通して
	「ずがこうさくがはじまるよ」、「図画工作をはじめよう」では、「造形的な見方・考え方」が分りやすい言葉で示されている。	・各巻の「ずがこうさくがはじまるよ」、「図画工作をはじめよう」 1・2上 p.4-6 / 1・2下 ～ 5・6下 p.5-7
	教科書巻頭の「学習の進め方」において、児童が自分で考える場面、友だちと関わる場面、教師が声かけをする場面、振り返りの場面などを、題材の活動の中で適宜設けることを示し、深い学びにつながるよう配慮している。	・各巻の「学習の進め方」(1・2下 ～ 5・6下 p.3-4)

個別最適な学びと協働的な学び	題材ページの「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」と「鑑賞のヒント」には、児童が造形的な見方・考え方を働かせることを促す投げかけが示されており、深い学びにつながるよう工夫されている。	・題材ページにおける「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」及び「鑑賞のヒント」
	「図工のみかた」では、身の回りにある形や色などを「造形的な見方・考え方」で捉え考えることを促し、題材の活動においても「造形的な見方・考え方」を働かせながら活動し、深い学びにつなげられるよう配慮されている。	・各巻の「図工のみかた」
	題材ページの「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」は、児童が発想を広げたり構想を深めたりできるよう促す声かけの例が示されており、深い学びにつながるよう工夫されている。	・題材ページにおける「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」及び「鑑賞のヒント」

言語活動の充実	オリエンテーションページでは、図工の授業での活動や作品などを記録しておく「図工ノート」をつくるのが提案されている。児童が自ら学習記録を残したり振り返ったりしながら学習の進め方を考えられるよう促し、指導の個別化を図れるよう工夫されている。	3・4上 p.6-7「かいて見つけるわたしのすきなもの」 5・6下 p.6-7「絵の具スケッチ」
	題材ページには多様な作品や活動例が紹介されており、使われている材料などもさまざまである。児童の発想の幅を狭めず、個々の興味・関心に応じて表したいことを見付けられるような紙面になっており、学習の個性化を図れるよう工夫されている。	全ての題材ページで
	題材ページには、表現や鑑賞の活動を通して友だちと話したり協力したりする様子が多く掲載されており、友だちとの関わりが自然と生まれ、協働的な学びが実現できるよう配慮されている。	全ての題材ページで

特別支援教育への配慮	鑑賞の題材や「アート・カードを楽しもう」では、美術作品などの鑑賞を通して、自分とは異なる他者の感じ方や見方に気付き、協働的な学びが実現できるよう工夫されている。	・各巻の「アート・カードを楽しもう」
	教科書全体を通して、身近な友だち、家庭や学校や地域の方、高齢者、障がいのある方、外国籍の児童や海外の作家など、さまざまな人々が登場する。図画工作科の学習を通して、同じ社会の一員である多様な他者と出会い、互いの価値観を尊重し合いながら生きることの大切さに気付き、「協働的な学び」が実現できるよう配慮されている。	全教材を通して
	発想や構想、鑑賞などさまざまな場面で児童がコミュニケーションを取りながら造形活動を行っている様子が紹介されている。	全教材を通して

児童の作品コメントや、児童のワークシートが掲載され、形や色、言葉で思いを伝え合う活動が促されている。	児童の作品コメントや、児童のワークシートが掲載され、形や色、言葉で思いを伝え合う活動が促されている。	全教材を通して
	特に鑑賞の題材においては、児童が美術作品などを見て感じたことなどを友だち同士で伝え合っている様子や、ふせんに書いて共有している様子など、複数の鑑賞の方法を示すことで、言語活動を充実させられるよう配慮されている。	・言語活動の例を示している鑑賞の題材 3・4上 p.48-49「絵を見て話そう」 3・4下 p.5-7「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ」 p.24-25「体でかんじよう」 5・6上 p.7「わたしとひびき合う」 5・6下 p.24-25「この筆あと、どんな空？」
	「ともだちの さくひんをみてはなそう」、「友だちと作品を見て話そう」では、作品や活動を互いに見合い、感じたことや考えたことを伝え合う活動を促すことで、言語活動が充実するよう工夫されている。	1・2上 p.56「ともだちの さくひんをみてはなそう」 3・4上 p.54、5・6上 p.58「友だちと作品を見て話そう」

多様な表現を認められるように、参考作品における支持体の大きさ、形、素材はさまざまなものが取り上げられている。また、障がいの有無にかかわらず児童が題材に主体的に取り組めるように、さまざまな発想のきっかけをもつ題材が設定されている。また、一つの題材の中でいくつかの実践パターンが示され、児童の実態に応じて材料の種類や数を絞るなど実践方法を変えられるよう配慮されている。また教科書とは別に拡大教科書を製作したり、文字の拡大や音声の読み上げなど、学習支援のための機能を備えたデジタル教科書を製作したりする体制を整えている。	多様な表現を認められるように、参考作品における支持体の大きさ、形、素材はさまざまなものが取り上げられている。また、障がいの有無にかかわらず児童が題材に主体的に取り組めるように、さまざまな発想のきっかけをもつ題材が設定されている。また、一つの題材の中でいくつかの実践パターンが示され、児童の実態に応じて材料の種類や数を絞るなど実践方法を変えられるよう配慮されている。また教科書とは別に拡大教科書を製作したり、文字の拡大や音声の読み上げなど、学習支援のための機能を備えたデジタル教科書を製作したりする体制を整えている。	全教材を通して ※デジタル教科書については本書 p.42-43 を参照
	手で触って鑑賞する作品や鑑賞の様子を掲載することで、視覚以外の鑑賞方法を知るとともに、視覚障がいについて考えられるよう配慮されている。	5・6上 p.28-29「ふれて伝えるストーリー」 p.36-37「どんなことをどんな方法で」 5・6下 p.36-37「水の流れ 水の形」
	全ての児童が見やすく読みやすいよう、UD フォントを使用し、文字の大きさを学年ごとに調整するなど工夫されている。	全教材を通して

色覚特性の有無にかかわらず、全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。題材名は見やすく、かつ楽しく取り組めるようデザインされている。	色覚特性の有無にかかわらず、全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。題材名は見やすく、かつ楽しく取り組めるようデザインされている。	全教材を通して
--	--	---------

「A 表現」及び「B 鑑賞」の関連	題材ページは、ページ左上に「絵・かん賞」のように分野を示すことで、表現と鑑賞を関連付けて学習できるよう配慮されている。また、「学習のめあて」にも、鑑賞のめあて（B 鑑賞の活動を通して育成する思考力、判断力、表現力等）を示している。	全ての題材ページで
	題材ページには、「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」と「鑑賞のヒント」が示されており、表現と鑑賞を往還しながら学習できるよう配慮されている。	全ての題材ページで
	題材の内容と関連の深い美術作品などが掲載された「教科書美術館」が、題材ページと連続した構成になっており、表現と鑑賞を関連付けて学習できるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> 題材ページと関連付けて活用できる「教科書美術館」 <ul style="list-style-type: none"> 1・2下 p.42-45・47「だんボールに入ってみると!」「からだで見つけるかたち・いろ」「つないでつるして」 3・4上 p.24-29「しげんの色」「土をかんじて」「お気に入りの葉」 3・4下 p.22-25「体の形」「体でかんしょう」、p.40-45「光とかけから生まれる形」、「光から生まれる形・色」、「光のさしこむ絵」 5・6上 p.22-25「身近なものを見つめて」「あの時あの場所わたしの思い」 5・6下 p.38-41「受けつがれてきた形」「もようから見つけて」
	身の回りにある造形や美術作品について、受動的に見るだけでなく、能動的に絵に表すなどの表現の活動を取り入れることで、表現と鑑賞を往還しながら学びを深められるような題材が設定されている。	<ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.24-29「しげんの色」「土をかんじて」「お気に入りの葉」 5・6下 p.24-25「この筆あと、どんな空?」
〔共通事項〕	教科書全体を通して取り扱われている。(1) アの形や色などに関する事項については、児童が感覚や行為を通して「形や色などを捉える」ことができるように、全身の感覚を使って材料や用具に触れる題材が設定され、形や色に主体的に関わることを促すような児童の情景写真が多く掲載されている。また(1) イのイメージに関する事項については、児童が題材に出会いイメージを膨らませることができるように、各題材の導入の言葉は形や色からイメージを喚起するような文言になっている。	全教材を通して
	題材ページに「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」及び「鑑賞のヒント」を示すことで、活動の中で出会うさまざまな形や色などを捉えながら活動できるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> 題材ページにおける「特に大切なめあてのヒント（表現のヒント）」及び「鑑賞のヒント」
共同してつくりだす活動	友だちと協力して活動することを通して、さまざまな発想や構想、アイデア、表し方などがあることに互いに気付けるような題材が設定されている。	<ul style="list-style-type: none"> 共同してつくりだす活動 <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.50-51「ねん土マイタウン」 3・4下 p.15「コロコロガール」みんなでコロコロコースター、p.50-51「ようこそ！ ゆめのまちへ」
	高学年では、数名でグループをつくって活動することで学びが深まるような題材が多く設定されている。グループの中でイメージや目的を共有し、互いの発想やアイデア、見方や感じ方を伝え合い相互に影響し合いながら活動できるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6上 p.14-15「あんなところがこんなところに」、p.38-39「笑顔が生まれるしかけ」、p.42-43「光と場所のハーモニー」 5・6下 p.8-9「ここから見ると」、p.14-15「糸から生まれるわたしの空間」、p.42-45「自然を感じるすてきな場所で」、p.50-51「あったらいいなプロジェクト」
	学級全体で協力してつくった作品や展示の様子を紹介することで、みんなで協力することで生まれる表現のよさやつくりだす喜びに気付けるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 主に、各巻の「広がる図工」で紹介 <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.53 SDGs アートウォール・プロジェクト 5・6上 p.36 アンブレラスカイ 5・6下 p.49 平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき～国際子ども平和壁画展～
版に表す経験・土を焼成して表す経験	各巻に、児童の発達の段階に応じて、版の特性を生かして表す題材が設定されている。また、版の特徴や表し方については「材料と用具のひきだし」に示し、児童がその特性を十分に理解しながら活動を行えるように配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 版に表す題材 <ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.52-53「うつした かたちから」 1・2下 p.50-51「たのしく うつして」 3・4上 p.44-45「いろいろうつして」 3・4下 p.48-49「ほってすって見つけて」 5・6上 p.48-49「ほり進めて刷り重ねて」 5・6下 p.46-47「版で広がるわたしの思い」 版について掲載している「材料と用具のひきだし」 <ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.64「おしてうつす」「こすりだしてうつす」 1・2下 p.62-63「かたがみでうつす」「かみはんでうつす」 3・4下 p.62-63「木はん画に表す～ほる～」、「木はん画に表す～する～」 5・6上 p.65「一ばん多色木はん画に表す」、p.66-67「ほり進み木はん画に表す」 5・6下 p.65「版で広がるさまざまな表現」
	各巻の粘土を扱う題材の中に、焼成して表す展開や作品が紹介されている。また、「材料と用具のひきだし」において焼成の方法やその効果などを示し、児童が焼成の特性を十分に理解しながら活動を行うことができるように配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 焼成して表す展開や作品を紹介しているページ <ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.34-35「いっしょにおさんぽ」 1・2下 p.36-37「おもいでをかたちに」 3・4上 p.8-9「切ってかき出しくっつけて」 3・4下 p.10-11「ねん土の板を立ち上げて」 5・6下 p.28-29「使って楽しい焼き物」、p.36-37「水の流れ 水の形」 焼成に関連する内容を掲載している「材料と用具のひきだし」 <ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.65「ねんどでつくる」 1・2下 p.57「土ねん土をやく」 3・4上 p.62「かきべら・切り糸で形をかえる」 3・4下 p.61「ねん土の板をつくる」 5・6下 p.60-61「ねん土で焼き物をつくる」

3. カリキュラム・マネジメントへの対応

教科書検討の観点	教科書の特徴	関連する教科書のページ
他教科等との関連	題材ページや特設ページに「つながる学び」を示し、関連する他教科等の学習内容と結び付けながら教科等横断的な学習ができるよう工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> 「つながる学び」については、本書の p.44-45 を参照
	低学年においては、生活科と関連のある題材・事例が多く掲載されている。	<ul style="list-style-type: none"> 生活科と関連のある題材など <ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.12-13「ねんどで ごちそう なにつくろう」、p.26-29「いっしょにあそぼう ばくばくくん」、p.36「たいせつボックス」、p.37「わくわくおはなしすごろく」、p.42-43「ならべてならべて」、p.44-45「スルスルビューン」 1・2下 p.18-19「わっかでへんしん」、p.28-29「どんなうごきに見えるかな」、p.48-49「とびだせびよーん」、p.52-53「草花のおしゃべり」、裏表紙「つながる ずこう」
	総合的な学習の時間や特別活動と、図画工作科の活動を関連させた事例が多く掲載されている。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間や特別活動と関連のあるページ <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.43「顔を出したらなんだかワクワク」、p.53「みんなとつながる」SDGs アートウォール・プロジェクト 5・6上 p.36「どんなことをどんな方法で」アンブレラスカイ、駅のこう内での展示 5・6下 p.50-51「あったらいいなプロジェクト」、p.54-55「未来のわたし」
道徳教育との関連	紙面全体を通して、安全への配慮、自分の特徴に気付きよい所を伸ばす、友だちと理解し合う、父母や祖父母、先生や学校の人々を敬愛する、美しいものに感動する心をもつ、郷土の伝統文化を大切に愛する、わが国の伝統文化を大切にする、などの項目と強く関連している。	全教材を通して
	また、全ての題材は、つくりだす喜びを味わうことができるよう配慮され、美しいものや崇高なものを尊重する心につながるものになっている。	全教材を通して
	学習内容が特に道徳と関連の深いページについては、「つながる学び」に「道徳」とし、道徳の内容項目との関連を意識しながら学習できるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 「つながる学び」については、本書の p.44-45 を参照。
外国語活動との関連	3・4 下裏表紙「つながる図工」では、作品を通して自分の気持ちや表したかったことを英語で伝える活動例が示されており、外国語活動との関連が図れるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 3・4下 裏表紙「作品でつたえよう」
幼児期教育との接続	1・2 上巻頭に「どんな こと すき だった?」のページを設けることで、幼児期の造形活動が図画工作科の学習内容につながっていることを示すとともに、1年生がこれまでの知識や経験を生かしながら小学校での学習に入っていけるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.2-3「どんな こと すき だった?」
	1・2 上冒頭の「ずこうの スタート」では、幼児期の活動内容に近い題材や、入学当初の児童の特性や発達の段階に適した題材を設定しており、児童がスムーズに小学校の学習へ入っていけるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.2-17「ずこうの スタート」(p.67「もくじ」に明記)かんしょうスタート「すきな かたちやいろ なあに」えスタート「どんだん かくのはたのしいな」りったいスタート「ねんどで ごちそう なにつくろう」こうさくスタート「ちよきちよきざり」ぞうけいあそびスタート「すなやつちと なかよし」
中学校教育との接続	中学校との接続ページが設定され、図画工作科での経験を振り返りながら、何を学習してきたのか考え、中学校への学びのつながりを意識することができるよう工夫されている。また、中学校の美術科や技術科との関連に配慮したページが設けられている。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6下 p.66-67「図画工作での学びをふり返ってみよう」p.18-19「墨と水から広がる世界」、p.24-25「この筆あと、どんな空?」、p.28-29「使って楽しい焼き物」、p.32-33「1まいの板から」、p.39-40「もようから見つけて」
	5・6 下「図画工作での学びをふり返ってみよう」では、小学校6年間の図画工作科での学習を振り返り、身に付いた力を児童が自覚できるよう促すとともに、中学校美術科での学びにつなげられるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6下 p.66-67「図画工作での学びをふり返ってみよう」
	5・6 下では、中学校美術科や技術科と関連がある題材等が掲載されており、中学校教育との接続に配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6下 p.24-25「この筆あと、どんな空?」、p.28-29「使って楽しい焼き物」、p.32-33「1まいの板から」、p.38-41「受けつがれてきた形」、p.39-40「もようから見つけて」
キャリア教育	5・6 下「未来のわたし」では、未来の自分の姿を想像しながらつくる活動を通して、自分のありたい姿や自分らしさについて考えたり、社会や職業について考えられるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6下 p.54-55「未来のわたし」
	5・6 下「図画工作での学びをふり返ってみよう」では、6年間の学びを振り返り、中学校での学びにつなげられるよう意識することを促しており、自分の将来や、生涯を通じて学び続けることについて考えられるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> 5・6下 p.66-67「図画工作での学びをふり返ってみよう」
	「材料と用具のひきだし」や5・6 下裏表紙「つくる人」の二次元コードから、現在社会で活躍している作家などのインタビュー動画を見ることができ、図画工作科の学びが将来の職業や人生にどのようにつながっていくのか考えられるように工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> 「つくる人」(5・6下 裏表紙) 「材料と用具のひきだし」QR コンテンツ (3・4上 p.55、3・4下 p.55、5・6上 p.59、5・6下 p.57)

4. デジタル・ICT活用

別冊「ICT活用でもっと深い学びを！」も合わせてご参照ください。



教科書検討の観点	教科書の特徴	関連する教科書のページ
情報活用能力の育成	タブレット端末の活用が有効であると考えられる題材については タブレットアイコン を示し、タブレット端末の機能を生かしながら、発想を広げたり鑑賞を深めたりできるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットアイコンを示しているページ <ul style="list-style-type: none"> 1・2上 p.54-55 「すきまちゃんの すきな すきま」 1・2下 p.52-53 「草花のおしゃべり」 3・4上 p.32-33 「ここがすみか」、p.43 「顔を出したらなんだかわくわく」、p.48-49 「絵を見て話そう」 3・4下 p.8-9 「まどをのぞいて」、p.14-15 「コロコロガーレ」、p.24-25 「体でかんしょう」、p.40-41 「光とかげから生まれる形」、p.52-53 「写真をとったら見えてきた」 5・6上 p.12-13 「形に命をふきこんで」、p.14-15 「あんなところがこんなところに」、p.30-31 「水から発見 ここきれい!」、p.38-39 「笑顔が生まれるしかけ」、p.42-43 「光と場所のハーモニー」、p.44-45 「ミラクル! ミラーワールド」、p.54-55 「ICT でチャレンジ」 5・6下 p.8-9 「ここから見ると」、p.10-13 「音の絵」、p.14-15 「糸から生まれるわたしの空間」、p.16-17 「固まった形から」、p.24-25 「この筆あと、どんな空?」、p.42-45 「自然を感じるすてきな場所で」、p.50-51 「あったらいいなプロジェクト」
	「 材料と用具のひきだし 」で、題材の活動におけるタブレット端末の活用方法などを示すことで、タブレット端末をさまざまな場面で活用できるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「材料と用具のひきだし」タブレット端末の活用に関するページ <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.63 「しゃしんをどうに生かす」 5・6上 p.65 「タブレットたん末を活用する」 5・6下 p.65 「ICT で広がる美術かん賞」
	「 材料と用具のひきだし 」で、インターネットを使用する際の注意点や著作権などを取り上げることで、児童がタブレット端末などの情報機器を利用する際に、情報モラルを意識しながら活動できるよう配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・「材料と用具のひきだし」情報モラルに関するページ <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.63 「インターネットを活用する」 5・6上 p.65 「著作権」
QRコンテンツ	「 材料と用具のひきだし 」では、二次元コードから用具の使い方や技法の動画を見ることができ、動画で確認しながら学習を進められるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻の「材料と用具のひきだし」
	二次元コードから、用具の使い方や仕組みのつくり方などを動画で確認することができ、題材の活動の中で児童が自分で確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。	QRコンテンツ一覧は別冊「ICT活用でもっと深い学びを！」p.14-17を参照。
	二次元コードから、作家インタビューの動画やさまざまな資料映像を見ることができ、児童が自らの関心を広げながら学習を進展させていくことができるよう工夫されている。	QRコンテンツ一覧は別冊「ICT活用でもっと深い学びを！」p.14-17を参照。
	KOMAKOMA×日文、KIRITORIなどのアプリは、児童の興味・関心を引き出し、楽しみながら表現したいことを見付けたり試行錯誤したりできる内容になっており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・KOMAKOMA×日文 (5・6上 p.12-13 「形に命をふきこんで」) ・KIRITORI (5・6上 p.55 「もよう Tシャツ」)
	アート・カードアプリ では、児童が美術作品に親しみをもち、楽しみながら学習できるよう工夫されている。また、主に鑑賞の題材では、教科書に掲載している美術作品を大きく見られる画像資料を使用することができ、鑑賞活動を深めることができるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・アート・カードアプリ (各巻の「アート・カードを楽しもう」) ・二次元コードから美術作品などを大きく見ることができるページ <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.48-49 「絵を見て話そう」 3・4下 p.5-7 「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ」、p.22-23 「体の形」、p.24-25 「体でかんしょう」 5・6上 p.5-7 「感じたことを伝え合う」、p.22-23 「身近なものを見つめて」 5・6下 p.24-25 「この筆あと、どんな空?」、p.38・41 「受けつがれてきた形」、p.39-40 「もようから見つけて」
	二次元コードから、 みんなの図工ギャラリー で公開されている児童作品を見ることができ、児童が表現したいことを見付けたり発想を広げたりするときに参考にできるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの図工ギャラリーは、各題材ページの二次元コードから見ることができます。
プログラミング・STEAM教育	題材の活動の中で、プログラミングツールを使うことで発想や表現の幅を広げる活動例を紹介している。プログラミング的思考を育むことができるよう配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングツールを使った活動例 <ul style="list-style-type: none"> 3・4下 p.15 「コロコロガーレ」 5・6上 p.43 「光と場所のハーモニー」 p.54 「プログラミングで表そう」 裏表紙 「プログラミングで空間を生み出す」 5・6下 p.51 「あったらいいなプロジェクト」 ・プログラミングツールを使った活動は、3・4下～5・6下 p.2 「もくじ」の「プログラミング」に示しています。
個別最適な学びと協働的な学び	QRコンテンツでは、用具の使い方や仕組みのつくり方の動画があり、児童が必要に応じて自分で確認したり、教師が見せて指導に生かすことができる。基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すとともに、「指導の個別化」を図れるよう配慮されている。	QRコンテンツ一覧は別冊「ICT活用でもっと深い学びを！」p.14-17を参照。
※ICT活用以外の内容は、本書 p.55	QRコンテンツでは、 みんなの図工ギャラリー からさまざまな児童作品を見ることができ、児童が自分の興味・関心に応じて作品を参照したり、集めた情報を発想・構想に生かして学びを深めたりできるよう工夫されており、「学習の個性化」につながるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの図工ギャラリーは、各題材ページの二次元コードから見ることができます。
	教科書では、ICTを活用して美術作品などを鑑賞し、感じたことや考えたことを互いに伝え合う題材を設定している。自分とは異なる価値観をもつ他者と出会い、尊重し合う「協働的な学び」ができるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して美術作品を鑑賞するページ <ul style="list-style-type: none"> 3・4上 p.48-49 「絵を見て話そう」 3・4下 p.5-7 「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ」、p.22-23 「体の形」、p.24-25 「体でかんしょう」 5・6上 p.5-7 「感じたことを伝え合う」、p.22-23 「身近なものを見つめて」 5・6下 p.24-25 「この筆あと、どんな空?」、p.38・41 「受けつがれてきた形」、p.39-40 「もようから見つけて」
	QRコンテンツでは、作家の制作活動の様子やインタビュー動画を見ることができ、学校の枠にとどまらず多様な他者の考え方や価値観と出会い、「協働的な学び」が実現できるよう配慮されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「材料と用具のひきだし」(3・4上 p.55、3・4下 p.55、5・6上 p.59、5・6下 p.57) ・3・4下 p.5-7 「見つけよう 感じよう 形と色のいい感じ」 ・5・6上 p.5-7 「感じたことを伝え合う」、p.28-29 「ふれて伝えるストーリー」 ・5・6下 裏表紙 「つながる図工」

5. 持続可能な社会の実現に向けて (SDGs・ESDとの関わり)

別冊「図画工作でできる! SDGs」も合わせてご参照ください。



教科書検討の観点	教科書の特徴	関連する教科書のページ
SDGs・ESDとの関連	児童が、持続可能な社会の創り手として、現代的な諸課題について図画工作科との関わりを通して考えを深められるよう、環境、地域文化・伝統文化、多文化共生、国際理解、平和・人権、防災・安全に関わる題材や事例が取り上げられている。	別冊「図画工作でできる! SDGs」を合わせてご参照ください。
	持続可能な開発目標 (SDGs) について、いろいろな国の人が見て分かるピクトグラムになっているという観点から取り上げられ、多文化共生について考えながら学べるよう配慮されている。	5・6上 p.37 「どんなことをどんな方法で」記号やマークでしめしたよ
環境教育	題材ページ内の「 かたづけ 」において、余った材料を保管しておくなどを促し、日々の授業を通して限りある資源を大切にしようとする気持ちを育てられるよう配慮されている。	1・2下 p.21 「しんぶんしと なかよし」など、全題材を通して
	自然がもつ美しさや面白さへの気付きを促す題材や特設ページが設けられており、身の回りの自然や環境を大切にしようとする気持ちを育てられるよう配慮されている。	1・2上 p.16-17 「すなやつちと なかよし」、p.42-43 「ならべてならべて」 1・2下 p.6-7 「きせつを かんじて」、p.52-53 「草花のおしゃべり」 3・4上 p.24・29 「しぜんの色」、p.25-26 「土をかんじて」、p.27-28 「お気に入りの葉」、p.32-33 「ここがすみか」 3・4下 p.21 「組んで立ててつなぐぐん」木のえだで 5・6下 p.42-45 「自然を感じるすてきな場所で」
	環境や安全などの社会問題について考えながら、未来の学校や町を想像してつくる題材が掲載され、環境問題への関心を高められるよう配慮されている。	5・6下 p.50-51 「あったらいいなプロジェクト」
人権尊重・多様性理解	家族や高齢者、学校の先生、地域の方、障がいのある方などに対して、日頃から優しい気持ちで向き合い、思いやりをもてるように、題材を通して、心豊かで、慈愛のある人間性が育まれるように配慮されている。	1・2下 裏表紙 「つながる ずこう」 3・4上 p.52-53 「みんなとつながる」 3・4下 p.46-47 「幸せを運ぶカード」 5・6上 p.28-29 「ふれて伝えるストーリー」、p.36-37 「どんなことをどんな方法で」、p.56-57 「美術館へ行こう」
	自分たちがつくった作品や美術作品などの鑑賞を通して対話する場面を多く設定することで、他者との感じ方や考え方の違いに気付くとともに、多様な見方や価値観を尊重する気持ちを育てられるよう配慮されている。	全教材を通して
	図画工作科の活動を通して、異学年での交流や身近な地域、社会とつながる活動を紹介することで、人との触れ合いや共生を通して造形表現を深めていくことができるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻の「広がる図工」 ・各巻裏表紙の「つながる図工」
	写真やイラストにおいて、外国籍の児童など多様な児童がともに学び合う姿や、幼児、高齢者、障がいのある方など、多様な人々と関わる姿が掲載されている。作品の掲載においては、作家作品、伝統工芸、アール・ブリュットの作品などが取り上げられ、教科書全体を通して多様性を尊重しながら学ぶことができるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・全教材を通して ・障がいやアール・ブリュットと関連があるページ <ul style="list-style-type: none"> 5・6上 p.28-29 「ふれて伝えるストーリー」 p.37 「どんなことをどんな方法で」 5・6下 p.37 「水の流れ 水の形」 p.57 「材料と用具のひきだし」、裏表紙 「つながる図工」やまなみ工房
	人物のイラストでは、服装や髪型に十分留意し、ジェンダーに関するステレオタイプな表現や偏りがないように配慮されている。	全教材を通して
	著作権について取り上げることで、作品一つひとつに作者の思いが込められていることを伝えるとともに、作者のもつ権利や人権を尊重する気持ちをもつことができるよう配慮されている。	5・6上 p.65 「タブレットたん末を活用する」
	特別支援教育の専門家である大内進先生（星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員）による、全面的な校閲のもと編集されている。	全教材を通して
防災・安全	防災研究の専門家である河田恵昭先生（関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授）による全面的な校閲のもと編集されている。	全教材を通して
	防災・安全について、防災看板のピクトグラムや、震災からの復興を願った展示の様子などが掲載され、防災への考えを深められるよう配慮されている。	3・4上 p.53 「みんなとつながる」神戸っ子アートフェスティバル 5・6上 p.37 「どんなことをどんな方法で」 浸水深サイン（どうぶつものさし） 5・6上 裏表紙 「つながる図工」 ひきさい者をはげます プロジェクションマッピング
	題材ページ及び「材料と用具のひきだし」の「 気をつけよう 」において、用具の安全な使い方や、活動場所の安全を確認することなどを示し、安全に配慮する態度を養うことができるよう工夫されている。	全題材を通して

伝統文化	<p>題材ページや特設ページで、伝統的な遊びや玩具、伝統工芸、伝統美術・文化などについて取り上げられており、日本の伝統文化のよさや美しさに気付くとともに、受け継いでいこうとする気持ちを育てられるよう配慮されている。</p>
------	---

国際理解教育への配慮	<p>諸外国の児童の作品や作家の作品、建築物などを取り上げ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解し学ぶ中で、国際理解の大切さや平和の発展に寄与する態度が身に付くように工夫されている。</p>
------------	---

1・2上 p.37「わくわくおはなしすごろく」
 1・2下 裏表紙「つながるすこく」
 3・4下 p.25「体でかんしょう」風神雷神図屏風
 3・4下 p.61「ねん土と人のくらし」
 5・6上 p.60「日本と西洋の伝統的な絵の具」
 5・6下 p.18-19「墨と水から広がる世界」
 5・6下 p.29「使って楽しい焼き物」教科書美術館ミニ
 5・6下 p.31「生活を豊かにする形」火焰型土器
 5・6下 p.38・41「受けつがれてきた形」
 5・6下 p.39-40「もようから見つけて」
 5・6下 p.47「版で広がるわたしの思い」教科書美術館ミニ
 5・6下 p.59「和紙ってすごい！」

・「外国の友だちの絵」
 1・2上 p.24-25「せんせいあのね」
 1・2下 p.26-27「こんなことあったよ」
 3・4上 p.20-21「あの日あの時の気持ち」
 3・4下 p.18-19「わすれられない気持ち」
 5・6上 p.24-25「あの時あの場所わたしの思い」
 5・6下 p.26-27「わたしの大切な風景」
 ・諸外国の作家作品・建築物
 各巻の「教科書美術館」
 各巻の「教科書美術館ミニ」(3・4下 p.51、5・6上 p.11、5・6下 p.9、p.13、p.45)
 3・4上 p.48-49「絵を見て話そう」
 5・6下 p.24-25「この筆あと、どんな空？」
 ※本書 p.51 も合わせて参照

6. 構成・配列

教科書検討の観点	教科書の特徴	関連する教科書のページ
題材の系統性への配慮	<p>低・中・高学年の児童たちの発達について、授業の取材や全国各地の実践報告をもとに研究し、発達の段階に応じて学びを深められるよう、系統性に配慮して配列されている。</p> <p>題材の分類は、「造形遊びをする」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞する」活動の5つの分野で構成され、それぞれの分野の中で、児童の発達に十分配慮した材料や用具が取り扱われている。</p>	全教材を通して
内容の配列や学年の順序性の工夫	<p>各巻とも、1年の流れに沿って、行事や季節に応じて題材を選択できるよう配列されている。</p> <p>材料・用具の取り扱いについて、例えばクレヨンについては1・2上で基本的な使い方、1・2下で応用的な使い方を紹介するなど、学年の順序性が十分に留意されている。</p> <p>学習指導要領において「内容」を2学年まとめて示していることを受け、低・中・高学年でテーマが設定されている。低学年では「まるごと たのしもう」として、心と体を十分に働かせて全身で楽しんだり味わったりする姿が示されている。中学年では「ためす見付ける」として、試行錯誤する中で自分の表したいことを見付けていく姿を示している。高学年では「わたしとひびき合う」として、自分の内面を見つめたり、他者の感じ方や見方に触れて互いに影響し合いながらつくりだす姿が示されている。</p>	全教材を通して
地域性への配慮	<p>全国各地の地域で行われている造形を通した活動の事例や、地域の美術館、地域の作家作品等が偏りなく掲載されており、児童が自分の地域と結び付けて学習することができる。</p>	全国各地域の掲載事例については、本書 p.50-51 を参照
	地域や学校の実態、児童の状況に合わせて題材を選択できるよう、豊富な題材が掲載されている。	全教材を通して

7. 正確性及び表記・表現

教科書検討の観点	教科書の特徴	関連する教科書のページ
ユニバーサルデザインへの配慮	<p>色覚特性の有無にかかわらず、全ての児童が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。題材名は見やすく、かつ楽しく取り組めるようデザインされている。また、学年に合わせて文字の大きさが調整されている。</p>	全教材を通して
	特別支援教育の専門家である大内進先生（星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員）による、全面的な校閲のもと編集されている。	全教材を通して
文章表現は適切か	<p>題材名や導入の言葉は、各学年の発達の段階を考慮し、児童の興味や関心を引き出すとともに、イメージを広げることができるよう工夫されている。</p>	全教材を通して
	題材ページの作品コメントやふきだしでは、活動や作品に関して児童がイメージしたことや発想・構想したことが児童の実際の言葉で示されており、児童にとって分かりやすい表現になっている。	全教材を通して

図版・写真などは学習内容と関連付けられているか	<p>題材ページでは、資質・能力の三つの柱に基づく「学習のめあて」に対応している情景写真が掲載されている。また、造形遊びにおける周囲の様子が読み取れるような写真、活動途中や終末での相互鑑賞・プレゼンテーションの様子も掲載されている。作品図版においても、児童の発想や構想、工夫が読み取りやすいよう、一部を拡大して掲載するなど、活動の際の参考になるよう工夫されている。</p>	全教材を通して
-------------------------	--	---------

レイアウトは適切か	<p>作品が大きく掲載されていることはもちろん、活動の情景が多く掲載され、活動の入口から出口まで、全ての場面が等しく学びであることを示すようなレイアウトになっている。また、大小のメリハリをつけることで紙面に動きをもたせ、児童が興味・関心をもつことのできる構成になるよう工夫されている。</p>	全教材を通して
-----------	--	---------

つくる過程や図解は明確であるか	<p>高学年の題材では、活動の大まかな流れが数字とともに示されており、活動の過程が分かりやすいよう工夫されている。</p>	<p>5・6上 p.8-11「心のもよう」、p.38-39「笑顔が生まれるしかけ」 5・6下 p.10-13「音の絵」、p.16-17「固まった形から」、p.28-29「使って楽しい焼き物」、p.39-40「もようから見つけて」</p>
-----------------	---	---

仕組みのつくり方などは図示することで分かりやすく、児童が主体的に活動できるように示されている。また、材料や用具の取り扱いについては巻末にまとめられ、いつでも参照できるよう工夫されている。

・仕組みのつくり方
 1・2上 p.22「かみをたせよう」、p.44「すべるしくみをつくろう」
 1・2下 p.18「わをつくろう」、p.22「ふくろをつくろう」、p.28「ひらくしくみをつくろう」、p.40「まどをひらこう」、p.48「しくみをつくろう」
 3・4上 p.12「わりピンをつけよう」、p.18「こなふうにつくろう」
 3・4下 p.14「コースのくふう」、p.26「仕組みをつくろう」、p.47「仕組みをつくってみよう」
 5・6上 p.18「切りこみのつくり方」、p.20・21「つくり方」
 5・6下 p.22「つくり方」、p.54「はり金で体のしんをつくる」
 ・各巻の「材料と用具のひきだし」

8. 造本

教科書検討の観点	教科書の特徴	関連する教科書のページ
大きさ・判型への配慮	A4判で、作品や写真を見やすく、インパクトをもたせて掲載し、児童の興味・関心を引き出す工夫がされている。	全巻を通して
印刷の鮮明さ	児童作品、美術作品の色合いや材質感などの忠実な再現に努められている。用紙は良質コート紙が使用され、発色が鮮やかに印刷されている。	全巻を通して
製本の堅牢さ	製本は、ページ数の多い書籍に適した無線綴じが採用され、紙がバラバラにならず、強度がある製本になっている。また、巻頭・巻末に見返しを付けることで耐久性が増すよう工夫されている。	全巻を通して
装丁の工夫	表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングが施され、丈夫で水濡れに対しても耐久性がある。また、表紙は細部が見えるよう児童作品を拡大して掲載している。一方で裏表紙には、作品の全図と作品コメントが掲載され、作品に込められた思いや意図が分かるよう工夫されている。	各巻の表紙・裏表紙
使いやすさへの配慮	<p>高学年では、4ページ題材が設けられ、活動の過程や発想のヒントなどを丁寧に示すとともに、多様な作品を掲載している。</p> <p>各巻の「教科書美術館」は、関連が深い題材ページと連続して配置されており、関連付けて活用できるよう構成が工夫されている。</p>	<p>・高学年の4ページ題材 5・6上 p.8-11「心のもよう」 5・6下 p.10-13「音の絵」、p.42-45「自然を感じるすてきな場所で」</p>
	5・6上巻末には「ミニ・アートカード」が付属しており、カードを使ってゲームを楽しみながら、児童が美術作品などに親しみをもち、能動的な鑑賞活動を促すことができるよう工夫されている。	5・6上 巻末「ミニ・アートカード」
安全・健康への配慮	植物性インクが使用されているため、従来の印刷に比べ人体への影響が少ない。また、化学物質に過敏な児童のために表紙の表面加工が工夫され、化学物質の残存量を少なくするための努力が行われている。	全巻を通して
環境への配慮	資源保護に配慮され、表紙・本文ともに再生紙が使用されている。印刷においては、植物性インクが使用されている。	全巻を通して
軽量化への取り組み	児童の重さへの負担をできるだけ軽減するため、軽量化した再生紙の中で最適の良質コート紙が使用されている。	全巻を通して
	従来の教科書より薄い紙を採用することで、軽量化に取り組んでいる。その際、薄い紙であっても裏写りなどが発生しない良質なコート紙を使用している。	全巻を通して



著作関係者

著作者

日本児童美術研究会

●代表者

奥村 高明 日本体育大学教授 林 耕史 群馬大学教授 西尾 正寛 畿央大学教授 山田 芳明 鳴門教育大学教授
大泉 義一 早稲田大学教授 西村 德行 東京学芸大学准教授

相田 隆司 東京学芸大学教授 赤木 里香子 岡山大学教授 秋山 道広 兵庫県芦屋市立精道小学校主幹教諭 雨宮 玄 東京都あきる野市立南秋留小学校指導教諭
有川 貴子 静岡県浜松市立中ノ町小学校教諭 有馬 佳子 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校非常勤講師 五十嵐 史帆 上越教育大学教授
石井 真里 兵庫県芦屋市立宮川小学校主幹教諭 市川 寛也 群馬大学准教授 石上 城行 埼玉大学教授 岩本 紅葉 東京都新宿区立富久小学校主任教諭
小江 和樹 鹿児島大学教授 大西 洋史 関西国際大学教授 岡田 三千代 鳴門教育大学附属小学校教諭 加藤 修 千葉大学教授
川真田 心 鳴門教育大学附属小学校教諭 栗山 裕至 佐賀大学教授 郡司 明子 群馬大学教授 小口 あや 茨城大学助教 三枝 清美 山梨県山梨市立日下部小学校教諭
佐藤 真帆 千葉大学准教授 島谷 あゆみ 広島大学附属東雲小学校教諭 杉林 英彦 愛知教育大学准教授 鈴木 陽子 東京都目黒区立五本木小学校主任教諭
隅 敦 富山大学教授 高須 昌志 埼玉大学教授 高橋 英理子 岡山大学教育学部附属小学校教諭 竹井 史 同志社女子大学教授
田島 均 埼玉県さいたま市立原山小学校教諭 田中 明美 東京都品川区立立会小学校指導教諭 谷口 なおみ 神奈川県横浜市立本牧南小学校校長
玉置 一仁 東京都練馬区立光が丘第八小学校主任教諭 徳嵩 博樹 長野県長野市立城山小学校教頭 中島 綾子 東京都荒川区立赤土小学校主任教諭
中臣 信丈 神奈川県川崎市立川崎小学校校長 名達 英詔 十文字学園女子大学教授 新野 貴則 山梨大学准教授 芳賀 正之 静岡大学教授
橋田 朋憲 東京都八王子市立船田小学校指導教諭 橋本 光明 すみだ北斎美術館館長・信州大学名誉教授 初田 隆 元 兵庫教育大学教授
濱口 由美 元 福井大学教授 飛知和 朋子 埼玉県さいたま市立常盤小学校教諭 平井 正俊 富山県上市町立宮川小学校校長 福田 隆真 山口大学名誉教授
福本 謹一 兵庫教育大学名誉教授 藤田 博己 神奈川県相模原市立大野台小学校校長 藤吉 祐子 国立国際美術館教育普及室長 藤原 逸樹 安田女子大学教授
堀口 基一 北海道札幌市立新光小学校校長 松久 公嗣 福岡教育大学教授 松本 健義 上越教育大学教授 南 育子 東京都墨田区立業平小学校教諭
三根 和浪 広島大学准教授 宮内 愛 東京都中野区立平和の森小学校主任教諭 山内 佑輔 新渡戸文化小学校教諭 山添 joseph 勇 美術家・深沢アート研究所
幸 秀樹 宮崎大学教授 笠 雷太 筑波大学附属小学校教諭 渡邊 美香 大阪教育大学准教授
他 83 名 日本文教出版株式会社

監修者

宮坂 元裕 横浜国立大学名誉教授
藤江 充 愛知教育大学名誉教授
水島 尚喜 聖心女子大学教授
阿部 宏行 札幌大学女子短期大学教授
辻 政博 元 帝京大学教授

校閲者

- 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲
大内 進 星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員
- 防災・安全教育に関する校閲
河田 恵昭 関西大学特別任命教授
- 幼・小・中学校連携に関する校閲
佐藤 賢司 大阪教育大学教授
竹内 晋平 奈良教育大学教授
丁子 かおる 和歌山大学准教授
- 道徳に関する校閲
島恒生 畿央大学大学院教授

デザイン

- 表紙・本文デザイン
岡本健デザイン事務所
岡本健 山中桃子 宮野祐 中村新
紺野達也 山中港 飯塚大和
- 本文組版
株式会社ユニックス

図工たいそう

- 振付・音楽・ナレーション
近藤 良平 (コンドルズ) 他
- 監修
西村 德行 東京学芸大学准教授
宮内 愛 東京都中野区立平和の森小学校主任教諭
杉本 恵理子 東京都府中市立白糸台小学校教諭

表紙に寄せて

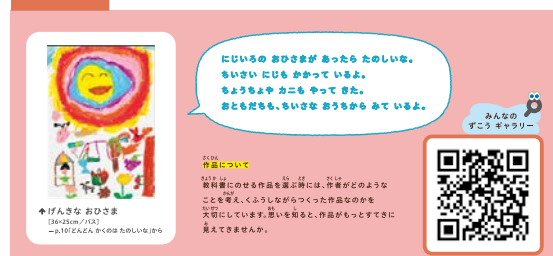
作品は、子ども自身。

図画工作の授業で生まれる作品は、かいたりつくったりする過程で、子どもが感じたことや考えたことが詰まっています。作品はただのモノではなく、「その子自身」です。

表紙



裏表紙



裏表紙には、表紙作品の全体を作者の子どものコメントとともに掲載しています。

1・2 上裏表紙



教科書6冊に登場する作品一つひとつが、「その子自身」を表しています。



作者の子どもとおしゃべりする気持ちで、作品を見てみてください。

図工の学びは、授業の枠を超えて。

裏表紙では、図工の学びを生活や社会へつなげる事例を紹介しています。

他教科とつなげて



3・4 下裏表紙

二次元コードから動画も見れる！

5・6 上裏表紙

心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。
心が満ちて、次の「やってみたい」が湧いてくる。
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、
あなたの、みんなの世界を耕していく。

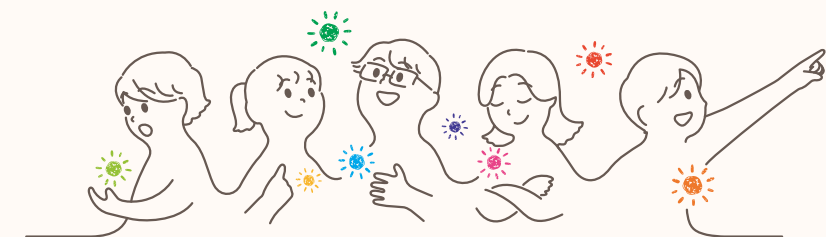
私たちは、学びのはじまりを大切にし、
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切に
教科書・教材の発行に挑戦し続けてきました。

どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。
その想いを、志（Purpose）に込めています。

私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、
その先に広がる未来をともに育んでいきます。



全国の子どもたちと先生方、
保護者や地域の皆さまの
ご協力によって
新しい図画工作の教科書が誕生しました。



Webサイトで公開中!

日文の新しい教科書の、 全ての情報がここに集結!

日文 図工 令和6年 検索



▶ 動画で分かる

内容解説動画のほか、授業で使える動画も見られます。



📖 読んで分かる

新版教科書の特色を網羅した本冊の他に、「SDGs」「ICT活用」をテーマにした別冊資料を用意しました。



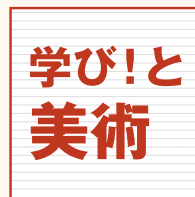
👉 使って分かる

デジタル教科書・教材の活用方法を紹介しています。実際に触ることができ、QRコンテンツも見られます。



🎨 図工のことがもっと分かる!

みんなで図画工作科と美術科の教育について考えるサイトなど、役に立つ情報がいっぱいです。



他にも

- ▶ 年間指導計画例や教師用指導書などについての情報も順次公開予定!
- ▶ 日文で発行している、他教科新版教科書情報も!

社会 算数 道徳



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は、植物性インキと再生紙を使用しています。

令和6年(2024年)度版 小学校図画工作科 内容解説資料

116 日文	教科書 記号・番号
1・2上 図工 107	1・2下 図工 108
3・4上 図工 307	3・4下 図工 308
5・6上 図工 507	5・6下 図工 508

本書の無断転載・複製を禁じます。
CD22316

日本文教出版 株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690